

# 公共施設に関する市民アンケート調査 調査結果報告書

平成 28 年 2 月  
久留米市



# 目次

---

第1章. 調査の概要 .....	2
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査の方法 .....	2
3. 調査結果の利用上の注意 .....	2
4. 回答者の構成 .....	3
第2章. 調査結果の概要 .....	6
1. 公共施設が抱える課題 .....	6
2. 課題解決に向けた取組み .....	7
3. 施設類型ごとの取組み .....	9
(1) 施設の利用頻度 .....	9
(2) 取組みに対する賛否 .....	11
第3章. 調査結果 .....	14
1. 公共施設が抱える課題 .....	14
(1) 公共施設の課題の認知度 .....	14
(2) 公共施設の課題の自由意見 .....	17
2. 課題解決に向けた取組み .....	19
(1) 公共施設の統廃合に取り組むことに対する賛否 .....	19
(2) コスト縮減や収入確保に取り組むことに対する賛否 .....	21
(3) 安全・安心を最優先にして取り組むことに対する賛否 .....	23
(4) 計画案や今後の取組みの自由意見 .....	25
3. 施設類型ごとの取組み .....	27
文化施設について .....	27
(1) 文化施設の利用頻度 .....	27
(2) 文化施設の取組方針に対する賛否 .....	29
(3) 文化施設の取組方針の自由意見 .....	31
生涯学習施設等について .....	33
(1) 生涯学習施設等の利用頻度 .....	33
(2) 生涯学習施設等の取組方針に対する賛否 .....	36
(3) 生涯学習施設等の取組方針の自由意見 .....	38
校区コミュニティセンターについて .....	40
(1) 校区コミュニティセンターの利用頻度 .....	40
(2) 校区コミュニティセンターの取組方針に対する賛否 .....	42
(3) 校区コミュニティセンターの取組方針の自由意見 .....	44
体育施設について .....	46
(1) 体育施設の利用頻度 .....	46
(2) 体育施設の取組方針に対する賛否 .....	49

(3) 体育施設の取組方針の自由意見 .....	51
小学校について .....	53
(1) 小学校の取組方針に対する賛否 .....	53
(2) 小学校の取組方針の自由意見 .....	56
市営住宅について .....	58
(1) 市営住宅の取組方針に対する賛否 .....	58
(2) 市営住宅の取組方針の自由意見 .....	60
第4章. 調査の総括 .....	64
資料編 (調査票) .....	68

## 第 1 章. 調査の概要

## 第 1 章. 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、公共施設が抱える課題や課題解決の方針に関する市民意識を把握し、久留米市公共施設総合管理基本計画を策定するための基礎資料にするとともに具体的な取組みの参考資料とすることを目的としている。

### 2. 調査の方法

- ・ 調査地域……………久留米市全域
- ・ 調査対象者………久留米市に在住する満 18 歳以上の男女個人
- ・ サンプル数……………2,000 人
- ・ 抽出方法……………住民基本台帳より無作為抽出
- ・ 調査方法……………郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間……………平成 27 年 11 月 27 日（金）～平成 27 年 12 月 10 日（木）
- ・ 回収率……………44.3%（回収数：886）

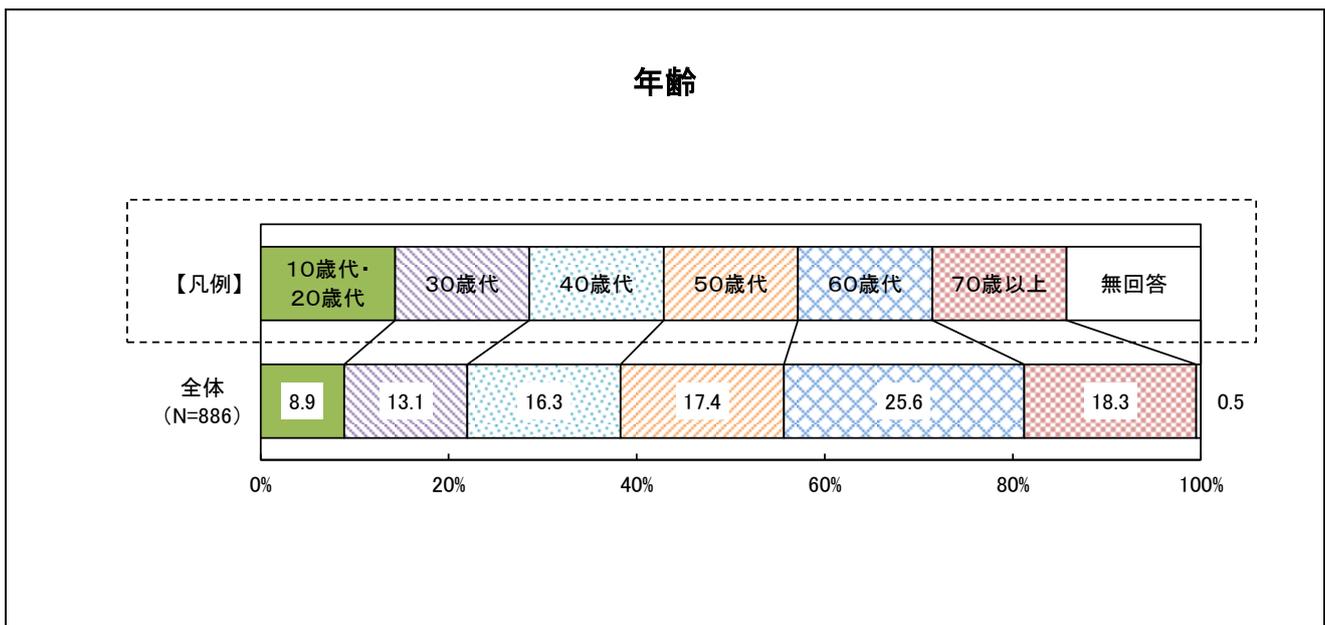
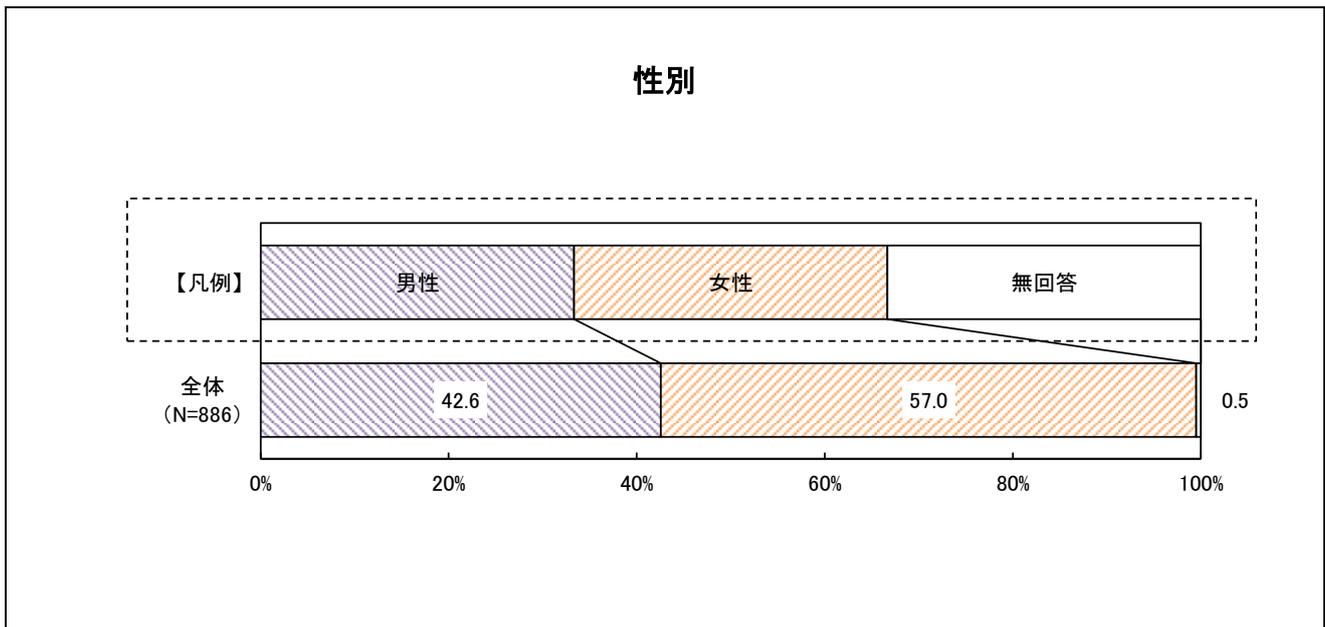
### 3. 調査結果の利用上の注意

◇回答は、原則として全体を母数（N）とした百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。このため、百分比の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答が出来る複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

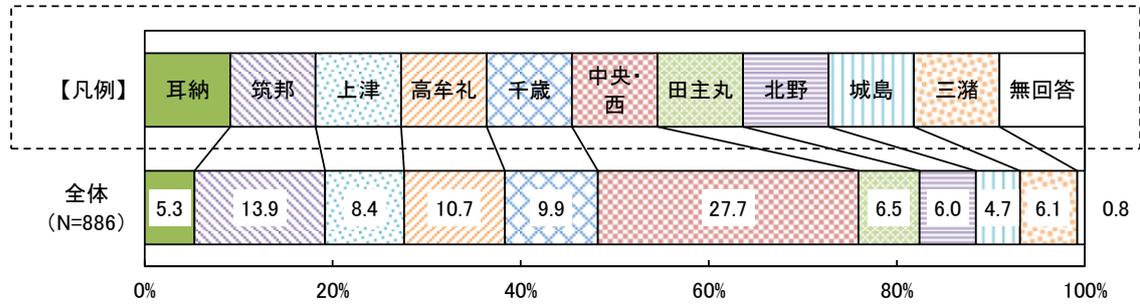
◇2 つ以上の選択肢を合計して表す場合は『 』とした。

◇数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を省略している場合があるので、巻末の調査票を参照のこと。

4. 回答者の構成



### 居住地区



※居住地区の区分は、以下のとおり。

居住地区	小学校区	(%)	居住地区	小学校区	(%)
耳納	善導寺	2.9	田主丸	船越	0.5
	大橋	0.7		水分	0.6
	草野	0.6		柴刈	1.1
	山本	1.1		川会	0.9
筑邦	荒木	4.3	北野	竹野	0.7
	大善寺	2.8		水縄	0.8
	津福	4.6		田主丸	2.0
	安武	2.1		北野	3.7
上津	上津	3.8	弓削	0.6	
	南	4.5	金島	0.7	
高牟礼	高良内	2.7	大城	1.0	
	青峰	1.0	城島	城島	1.9
	御井	2.9		江上	1.4
	東国分	4.1		青木	0.9
千歳	宮ノ陣	2.8		下田	0.3
	山川	2.0	浮島	0.2	
	合川	5.1	三瀨	犬塚	1.7
	中央・西	小森野		1.2	三瀨
長門石		1.0		西牟田	0.7
篠山		1.8	無回答	0.8	
京町		1.8			
南薫		3.6			
日吉		2.6			
荘島		2.6			
金丸		4.6			
鳥飼	3.3				
西国分	5.1				

## 第2章. 調査結果の概要

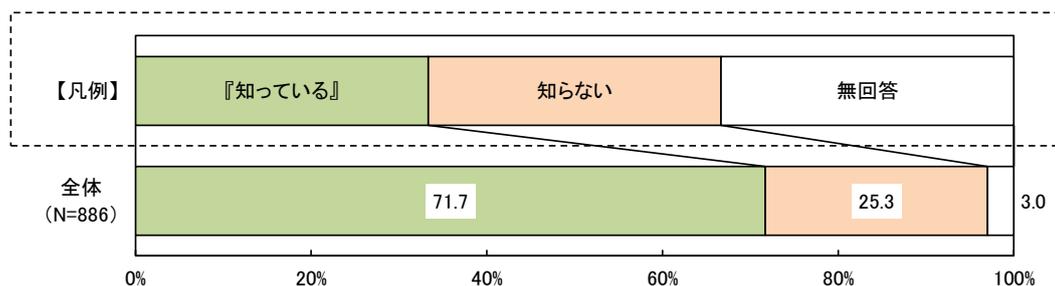
## 第2章. 調査結果の概要

### 1. 公共施設が抱える課題

公共施設が抱える財政面や安全面での課題が市民の皆様に認識されているのかの状況を把握するため、課題の概要を示した上で、認識状況や認識した媒体について調査を行った。

(設問番号：問1)

図表：公共施設が抱える課題の認知度



※上記結果は、以下の選択肢から複数回答で得た結果をまとめたものである。

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1 書籍で読んだことがある     | 5 広報くろめやホームページで見たことがある |
| 2 新聞や雑誌で読んだことがある  | 6 その他                  |
| 3 テレビ報道で見たことがある   | 7 知らない                 |
| 4 公共施設白書で読んだことがある |                        |

※『知っている』は、上記選択肢の1から6をまとめたものである。

※公共施設が抱える課題は、以下のとおりである。

#### 公共施設が抱える課題（財政的課題）

- ① 高度経済成長期に整備した多くの公共施設が老朽化し始めています。
- ↓
- ② 老朽化した施設は安全性の低下等の問題があるため、改修や建替えが必要になります。
- ↓
- ③ 施設の改修・建替え経費が増え、大きな財政負担が発生します（財政を圧迫）。

#### 結果の特徴

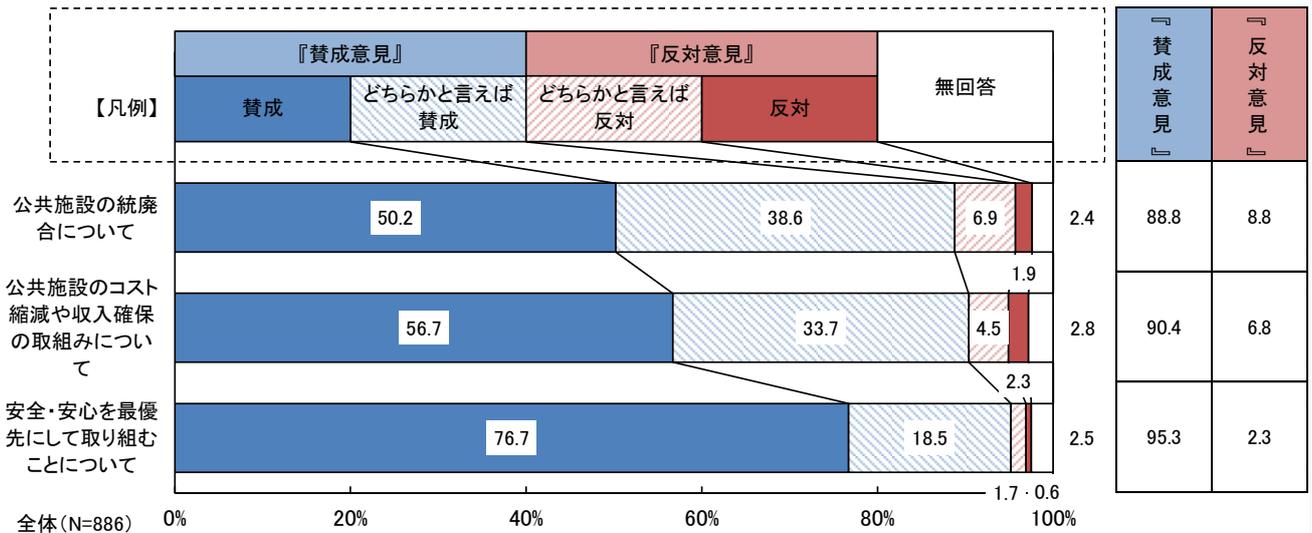
- 公共施設が抱える課題について『知っている』と回答した人は、71.7%であり、7割を超える人が知っている結果となっている。
- なお、『知っている』と回答した人の中で、テレビや新聞、雑誌をきっかけとして課題を知った人が多い傾向にある。

2. 課題解決に向けた取組み

公共施設が抱える課題を解決するための方針や目標について、市民の皆様にご賛成が得られているか把握するため、それぞれの方針・目標を示した上で、賛否について調査を行った。

(設問番号：問3、問4、問5)

図表：課題解決に向けた取組みの賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※公共施設が抱える課題を解決するための推進目標は、以下のとおりである。

(公共施設の統廃合等の取組み)

**推進目標**

平成37年度までに、施設の統廃合等により、施設面積を3% (約3万㎡) 縮減します

(コスト縮減や収入確保の取組み)

**推進目標**

平成37年度までに、コスト縮減や収入確保により、効果額15億円を生み出します

(安全・安心を最優先にする取組み)

**推進目標**

施設の安全・安心確保により、重大事故ゼロを目指します

### 結果の特徴

- すべての推進目標について、『賛成意見』の割合が概ね9割前後となっている。多くの人が推進目標で取組むことに賛成の傾向である。
- 『賛成意見』の割合が高いのは「安全・安心を最優先にして取組むこと」であり、他の2つの方針と比較すると、「賛成」と回答した人の割合が2割程度高い結果となっている。

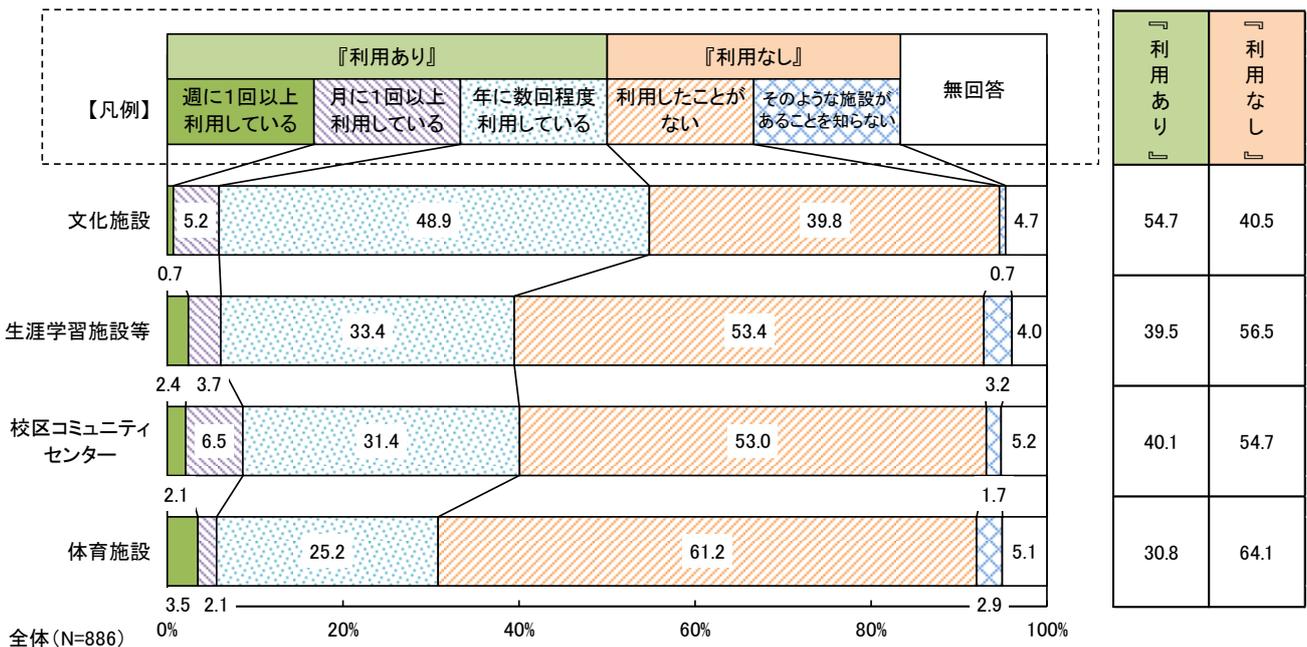
3. 施設類型ごとの取組み

(1) 施設の利用頻度

公共施設が市民全体の中でどの程度利用されているかを施設類型ごとに把握するため、類型ごとの利用頻度について調査を行った。

(設問番号：問7、問10、問13、問16)

図表：施設の利用頻度



※『利用あり』は、「週に1回以上利用している」、「月に1回以上利用している」、「年に数回程度利用している」をまとめたもの。

『利用なし』は、「利用したことがない」と「そのような施設があることを知らない」をまとめたもの。

※施設類型ごとの主な施設や開設は、以下のとおりである。

(文化施設)

音楽イベントや講演会等を催すためのホールを備えた施設です。  
 (主な施設) 【大規模ホール】市民会館、石橋文化ホール  
 【中規模ホール】共同ホール、そよ風ホール、城島総合文化センター、北野生涯学習センター など

(生涯学習施設等)

市民の生涯学習活動等のため、会議室や和室、調理室の貸室を提供する施設です。  
 (主な施設) えーるピア久留米、勤労青少年ホーム、高牟礼会館、市民センター多目的棟、サンライフ久留米 など

**(校区コミュニティセンター)**

校区住民の皆様の寄付や市からの補助金により、小学校区ごとに設置され、校区コミュニティ組織で管理運営されています。これらの施設は、校区まちづくり活動の拠点であるとともに、校区住民の皆様に貸会議室や調理室等の貸室を提供しています。

**(体育施設)**

市民の皆様がスポーツ活動等をするための体育館、トレーニング室、プール、軽運動室等様々な運動の場を提供するための施設です。

(主な施設) 荘島体育館、みづま総合体育館、西部地区体育館、  
西田体育館、市民温水プール、筑後川漕艇場 など

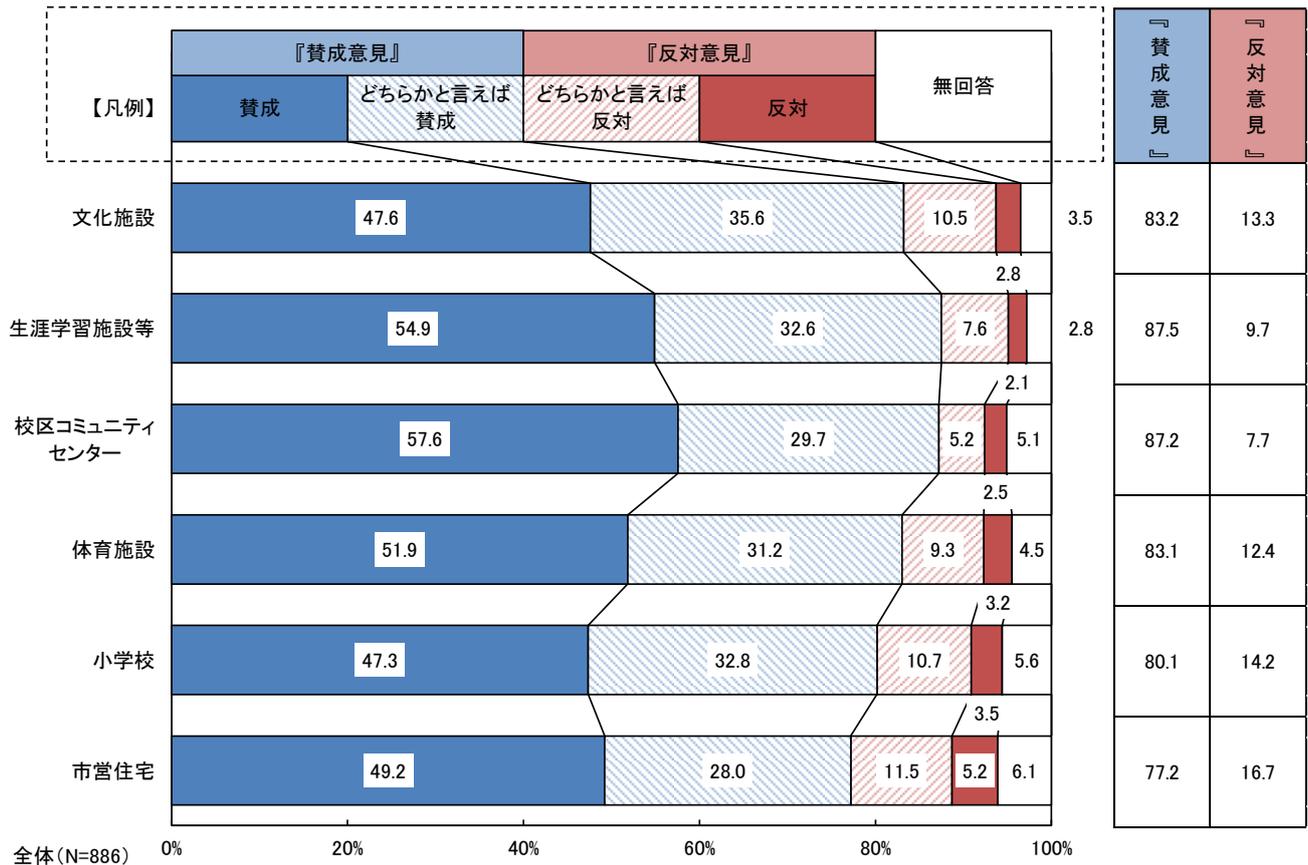
**結果の特徴**

- 『利用あり』と回答した人の割合は、文化施設が54.7%であり、5割を超えている。一方、生涯学習施設等及び校区コミュニティセンターが約4割、体育施設が約3割となっており、5割を下回る結果となっている。
- 『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」+「月に1回以上利用している」)の割合は、どの施設類型でも低く、1割以下である。最も高いのは「校区コミュニティセンター」(8.6%)、最も低いのは「体育施設」(5.6%)となっている。

(2) 取組みに対する賛否

公共施設が抱える課題を解決するための施設類型ごとの取組方針について、市民の皆様には賛成が得られているか把握するため、それぞれの取組方針を示した上で、賛否について調査を行った。  
(設問番号：問8、問11、問14、問17、問19、問22)

図表：取組みに対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。

『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※施設類型ごとの取組方針は、以下のとおりである。

(文化施設)

500席程度の中規模ホールを有する施設について、老朽化が進んで大規模な改修や建替えが必要となる時期に、施設廃止を含めた検討を行います。

(生涯学習施設等)

貸室の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

### (校区コミュニティセンター)

校区での地域活動による利用の他に、市民の生涯学習などを含め、より幅広く利用することで、施設をより有効に利用していきます。

### (体育施設)

施設の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

### (小学校)

【課題】少子化の進行により、クラス替えができなかったり、複式学級（2つ以上の学年をひとつにした学級）となる学校が存在するなどの課題が生じています。今後の少子化の状況によっては、これらの課題がさらに深刻化する可能性があります。

【方針】このような課題を踏まえつつ、長期的な児童数の予測を基に、学校統合を含めた検討を行います。

また、小学校は、地域の中心的な公共施設でもあるため、他の公共施設を小学校に集約化するなどして、小学校施設を複合的に利活用します。

### (市営住宅)

【課題】市営住宅は、高度経済成長期の人口増加等に対応するため、住宅戸数の確保を目的として整備されてきましたが、現在では、民間賃貸住宅を含めた住宅市場は、供給過多となっています。

【方針】今後、市営住宅の集約化や民間賃貸住宅の活用についても検討し、市営住宅の保有量の削減を進めます。

### 結果の特徴

- 全体的に、『賛成意見』が約8割前後であり、多くの人が取組方針に賛成している傾向にある。
- 市営住宅の取組方針についての『賛成意見』が最も低く、8割以下である。
- 生涯学習施設等及び校区コミュニティセンターの取組方針についての『賛成意見』は、約9割である。

## 第 3 章. 調查結果

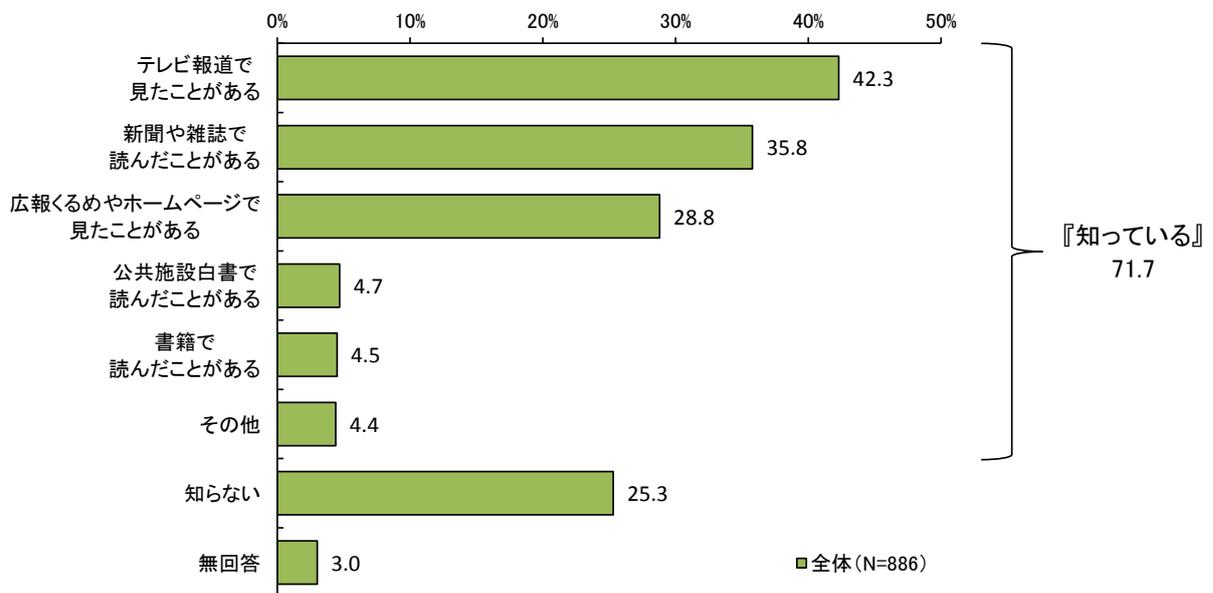
### 第3章. 調査結果

#### 1. 公共施設が抱える課題

##### (1) 公共施設の課題の認知度

問1 あなたは、公共施設がこのような課題を抱えていることを知っていますか。(〇はいくつでも)

図表：公共施設の課題の認知度



※『知っている』は、「テレビ報道で見たことがある」、「新聞や雑誌で読んだことがある」、「広報くまめやホームページで見たことがある」、「公共施設白書で読んだことがある」、「書籍で読んだことがある」、「その他」をまとめたもの。

※「このような課題」とは、以下のとおりである。

#### 公共施設が抱える課題（財政的課題）

- ① 高度経済成長期に整備した多くの公共施設が**老朽化**し始めています。
- ↓
- ② 老朽化した施設は安全性の低下等の問題があるため、**改修や建替えが必要**になります。
- ↓
- ③ 施設の**改修・建替え経費が増え、大きな財政負担**が発生します（財政を圧迫）。

結果の特徴

- 公共施設が抱える課題について、『知っている』は71.7%であり、7割を超えている。
- 『知っている』と回答した人の中では、「テレビ報道で見たことがある」が42.3%、「新聞や雑誌で読んだことがある」が35.8%であり、テレビや新聞、雑誌をきっかけとして課題を知った人が多い傾向にある。

属性別の特徴

(性別)

- 大きな違いはみられない。

(年代別)

- 「新聞や雑誌で読んだことがある」「テレビ報道で見たことがある」「広報くるめやホームページで見たことがある」と回答した人の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。
- 『知っている』と回答した人の割合も、年齢が上がるにつれて高くなる傾向にある。
- 「知らない」と回答した人の割合は、年齢が下がるにつれて概ね高くなる傾向にあり、10歳代・20歳代(54.4%)では5割を超えている。

(居住地区別)

- 『知っている』と回答した人の割合は、城島(85.7%)で8割を超えて最も高くなっており、他の居住地区と比べて高くなっている。

図表：公共施設の課題の認知度（性別、年代別、居住地区別）

	全 （回 答 数 ）	『知っている』(%)							知 ら な い （ % ）	無 回 答 （ % ）	『 知 っ て い る 』 （ % ）
		が 書 籍 で 読 ん だ こ と	だ 新 聞 や 雑 誌 で 読 ん だ こ と	こ と が レ ビ ジ で 見 た	ん 公 共 施 設 白 書 で 読 ん だ こ と	と が あ る 広 報 く る め や ホ ー ム ペ ー ジ で 見 た こ と	そ の 他				
全 体	886	4.5	35.8	42.3	4.7	28.8	4.4	25.3	3.0	71.7	
性 別	男性	377	6.1	38.7	43.8	4.2	24.9	5.6	24.9	2.9	72.1
	女性	505	3.4	33.5	41.2	5.1	31.7	3.6	25.5	3.2	71.3
	無回答	4	-	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	75.0
年 代 別	10歳代・20歳代	79	1.3	13.9	25.3	2.5	13.9	1.3	54.4	2.5	43.0
	30歳代	116	2.6	17.2	38.8	-	19.8	2.6	39.7	2.6	57.8
	40歳代	144	2.1	29.2	42.4	3.5	25.0	6.9	25.7	1.4	72.9
	50歳代	154	8.4	42.9	42.2	3.2	27.3	4.5	20.8	3.2	76.0
	60歳代	227	6.2	43.6	45.8	6.2	31.3	4.4	17.6	3.1	79.3
	70歳以上	162	3.7	47.5	48.1	9.9	43.8	4.9	15.4	4.9	79.6
	無回答	4	-	50.0	50.0	-	25.0	-	25.0	-	75.0
居 住 地 区 別	耳納	47	6.4	40.4	44.7	8.5	44.7	2.1	19.1	4.3	76.6
	筑邦	123	5.7	38.2	43.9	5.7	27.6	4.1	26.0	4.1	69.9
	上津	74	2.7	35.1	45.9	6.8	28.4	6.8	28.4	4.1	67.6
	高牟礼	95	3.2	37.9	38.9	5.3	38.9	1.1	24.2	2.1	73.7
	千歳	88	4.5	39.8	48.9	5.7	27.3	5.7	23.9	2.3	73.9
	中央・西	245	4.1	30.2	41.2	2.9	23.3	5.7	27.3	1.2	71.4
	田主丸	58	5.2	43.1	31.0	5.2	31.0	1.7	27.6	3.4	69.0
	北野	53	5.7	43.4	47.2	3.8	24.5	9.4	22.6	3.8	73.6
	城島	42	9.5	38.1	47.6	9.5	31.0	2.4	9.5	4.8	85.7
	三猪	54	1.9	24.1	37.0	-	27.8	1.9	31.5	7.4	61.1
無回答	7	-	42.9	28.6	-	28.6	-	28.6	-	71.4	

## (2) 公共施設の課題の自由意見

**問2 公共施設が抱える課題全般に関してのご意見などがあればお聞かせください。**

公共施設が抱える課題全般に関しての意見として、316人から362件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：公共施設の課題の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
統廃合、縮減	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区の公民館を廃止して、校区のコミュニティセンターに統合すると思う</li> <li>• 量を減らして質を向上することに賛成</li> <li>• 最低限必要なものに絞り、あとは民間委託する</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
老朽化、建替え	51	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 老朽化した施設で、利用者が少ない施設は減らしていいと思う</li> <li>• 必要性のある施設は、改修や建て替えを望むが町や市の規模や住民の意向を無視した建物は望まない</li> <li>• 稼働率などから、改修や建替えを考えてはどうか</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
少子化、子ども	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもが減少し、教育施設の統廃合はやむを得ないとは思いますが、質は確保してほしい</li> <li>• 小学校など、近隣で生徒数が少ない所などは、統廃合しても良いのでは</li> <li>• 少子高齢化が進んでいくからこそ、公共施設の充実が必要だと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
利便性、利用率	43	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公共施設利用の為に交通手段が中心街と郊外では年齢的なもので格差があると思う</li> <li>• 公共施設が中心部ばかり整備されるため、私達は利用する機会がない</li> <li>• 施設の利便性ととも、本当に必要な施設であるのか、ムダはないか、検証する必要もあると思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 公共施設の課題の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
高齢化、高齢者	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の増加に対応できるように、バリアフリーを進めてほしい</li> <li>・ 高齢者が増加しますので、近くの施設を利用すると思う</li> <li>・ 高齢化が進み、統廃合される事で、利用したい施設が遠くなった場合のことも考えた方がいい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
財政、税金	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政を圧迫してまで、維持する必要は全くない</li> <li>・ 公共施設にお金を掛けすぎ</li> <li>・ 財政負担の軽減や経費削減はもちろん行われていくと思いますが、使用料等を増やし、収入面を拡大させる工夫も必要だと考える</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
量、質	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来へ向けて、公共施設の質の維持向上は当然であるが、量については少子高齢化を見据え、積極的に統廃合を推進すべき</li> <li>・ 公共施設が多すぎるのではないかと思う</li> <li>・ 利用率、稼働率、老朽化度合を調べたうえで量、質を見直してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
安全性	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全第一に考えてほしい</li> <li>・ 施設の耐震化などに応じて、安全性の維持向上に取組みを推進することを望む</li> <li>・ 危険度の高いものから優先的に対応していく</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路や橋などの必要不可欠といわれる所も老朽化しているはずなので、そちらの方が第一に考えるべき</li> <li>・ 市町合併等により、課題が多い事と思われる</li> <li>・ 本当に市民が必要としているものを計画してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

## 自由意見の特徴

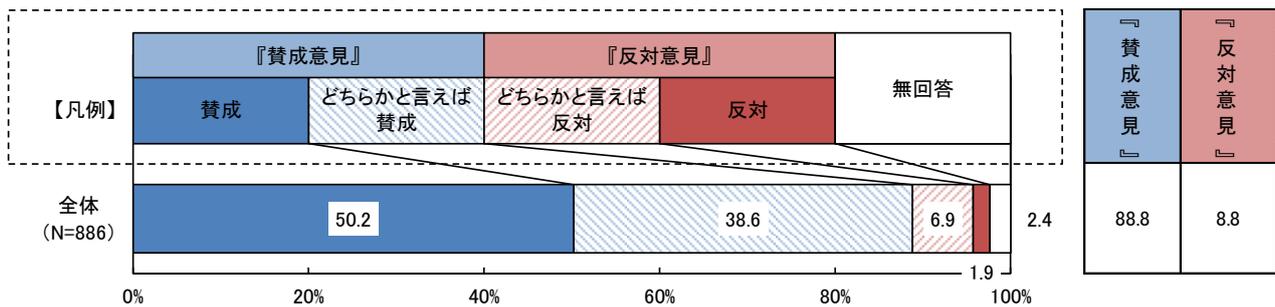
- 統廃合や縮減に関する意見が最も多く 61 件あった。その中では、統廃合の推進の必要性や市の財政等の意見が挙がっている。
- 少子化や高齢化に関する意見も多く、少子化や子どもに関する意見 47 件、高齢化や高齢者に関する意見 35 件であった。その中では、統廃合により、学校等の施設までの距離が遠くなることに関する不安等の意見、施設のバリアフリー化や教育環境の向上等の意見が挙がっている。

2. 課題解決に向けた取組み

(1) 公共施設の統廃合に取り組むことに対する賛否

問3 あなたは、このように公共施設の統廃合等に取り組むことについて、どう思いますか。  
(○は1つ)

図表：公共施設等の統廃合に取り組むことに対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このように公共施設の統廃合等に取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**推進目標**

平成37年度までに、施設の統廃合等により、施設面積を3%（約3万㎡）縮減します

- ★施設面積3%（約3万㎡）は、現在の久留米市役所本庁舎（約3万4千㎡）と同程度の規模です。
- ★今後10年間は3%縮減を目標としていますが、最終的には40年間で15%（約16万㎡）の縮減が必要と想定しています。

目標達成のために

**推進方針** 施設保有量の縮減（公共施設の「量」を減らす）

- ★施設の統廃合を進めたり、新しい施設が必要になっても他の施設を用途転用したりすることで、施設面積（量）が増えないように努めます。

**結果の特徴**

- 公共施設の統廃合等に取り組むことについて、『賛成意見』は88.8%であり、約9割となっている。
- 『反対意見』は8.8%であり、約1割となっている。

属性別の特徴

(性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合、男性 (58.1%) が女性 (44.4%) より 13.7 ポイント高くなっている。

(年代別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、50 歳代 (59.0%)、60 歳代 (56.8%) で 5 割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

(居住地区別)

- 『反対意見』が 1 割を超えた地区は、割合が高い順に北野 (18.9%)、田主丸 (13.8%)、高牟礼 (13.7%)、三瀨 (13.0%)、「耳納」(12.8%) となっている。
- 『反対意見』の割合が 5%以下の地区は、中央・西 (4.5%) である。

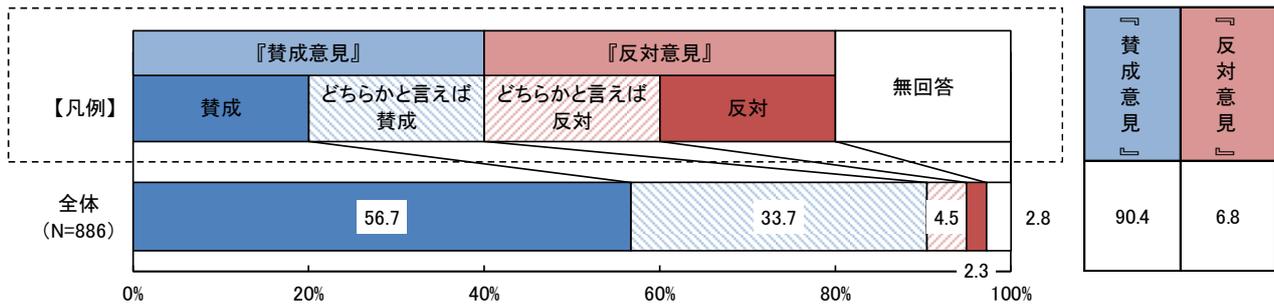
図表：公共施設の統廃合に取り組むことに対する賛否 (性別、年代別、居住地区別)

	全 回 答 数	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 (%)	『賛 成 意 見』 (%)	『反 対 意 見』 (%)
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対			
全 体	886	50.2	38.6	6.9	1.9	2.4	88.8	8.8
性 別	男性	58.1	32.9	5.6	1.9	1.6	91.0	7.4
	女性	44.4	42.8	7.9	2.0	3.0	87.1	9.9
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0
年 代 別	10歳代・20歳代	45.6	40.5	10.1	2.5	1.3	86.1	12.7
	30歳代	48.3	45.7	3.4	-	2.6	94.0	3.4
	40歳代	43.1	46.5	5.6	2.1	2.8	89.6	7.6
	50歳代	40.9	44.2	9.7	1.9	3.2	85.1	11.7
	60歳代	59.0	30.0	6.2	2.6	2.2	89.0	8.8
	70歳以上	56.8	32.1	7.4	1.9	1.9	88.9	9.3
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0
居 住 地 区 別	耳納	53.2	31.9	6.4	6.4	2.1	85.1	12.8
	筑邦	50.4	40.7	5.7	0.8	2.4	91.1	6.5
	上津	60.8	29.7	5.4	2.7	1.4	90.5	8.1
	高牟礼	48.4	35.8	11.6	2.1	2.1	84.2	13.7
	千歳	48.9	42.0	3.4	2.3	3.4	90.9	5.7
	中央・西	50.2	42.9	4.1	0.4	2.4	93.1	4.5
	田主丸	53.4	31.0	12.1	1.7	1.7	84.5	13.8
	北野	39.6	37.7	18.9	-	3.8	77.4	18.9
	城島	52.4	35.7	4.8	4.8	2.4	88.1	9.5
	三瀨	42.6	42.6	7.4	5.6	1.9	85.2	13.0
	無回答	7	57.1	42.9	-	-	-	100.0

(2) コスト削減や収入確保に取り組むことに対する賛否

問4 あなたは、このようにコスト削減や収入確保に取り組むことについて、どう思いますか。  
(○は1つ)

図表：コスト削減や収入確保に取り組むことに対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このようにコスト削減や収入確保に取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**推進目標**

平成37年度までに、コスト削減や収入確保により、効果額15億円を生み出します

目標達成のために

**推進方針** 徹底したコスト削減

- ★『コスト削減』のために…
  - ・施設を長く使えるようにし、建替えのサイクルを長くします
  - ・維持管理費や運営費を削減するため、現在よりも積極的に民間委託を進めます
  - ・改修工事等を行う場合は、改修内容の必要性を精査して合理的に事業を実施します
- ★『収入確保』のために…
  - ・廃止した施設の跡地売却や施設利用料を見直すなどして収入を確保します

**結果の特徴**

- 徹底したコスト削減に取り組むことについて、『賛成意見』は90.4%であり、約9割となっている。
- 『反対意見』は6.8%であり、1割以下となっている。

属性別の特徴

(性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、男性(63.9%)が女性(51.3%)より12.6ポイント高くなっている。

(年代別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、60歳代(61.7%)、70歳以上(66.7%)で6割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

(居住地区別)

- 『賛成意見』と回答した人の割合は、三瀨(81.5%)を除いて9割前後となっている。また、「賛成」と回答した人の割合は、城島(71.4%)で約7割となっており、他の居住地区と比べて高くなっている。

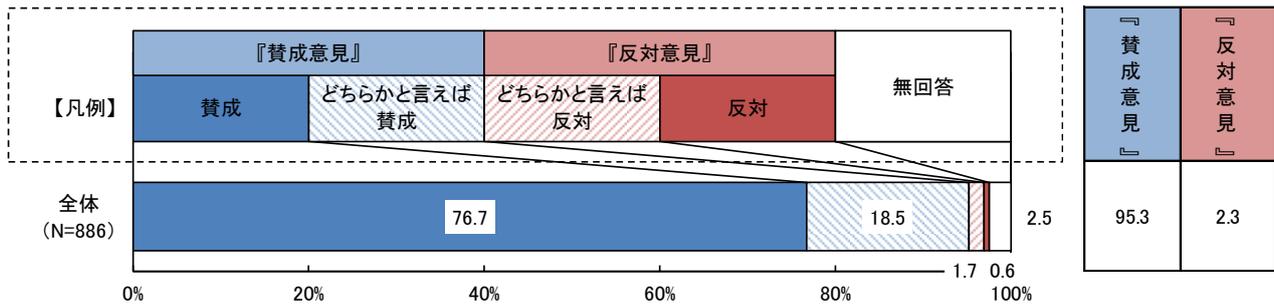
図表：コスト縮減や収入確保に取り組むことに対する賛否（性別、年代別、居住地区別）

	全 （回 答 体 数）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ %）	『 賛 成 意 見 』 （ %）	『 反 対 意 見 』 （ %）	
		賛 成	賛 ど ち ら か と 言 え ば	反 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	56.7	33.7	4.5	2.3	2.8	90.4	6.8	
性 別	男性	63.9	27.9	3.7	2.4	2.1	91.8	6.1	
	女性	51.3	38.2	5.1	2.0	3.4	89.5	7.1	
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0
年 代 別	10歳代・20歳代	79	50.6	41.8	2.5	3.8	1.3	92.4	6.3
	30歳代	116	50.9	41.4	3.4	1.7	2.6	92.2	5.2
	40歳代	144	47.9	43.8	3.5	1.4	3.5	91.7	4.9
	50歳代	154	54.5	35.1	5.8	1.3	3.2	89.6	7.1
	60歳代	227	61.7	27.8	5.7	3.1	1.8	89.4	8.8
	70歳以上	162	66.7	22.8	4.3	1.9	4.3	89.5	6.2
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0
居 住 地 区 別	耳納	47	59.6	31.9	2.1	4.3	2.1	91.5	6.4
	筑邦	123	58.5	31.7	3.3	0.8	5.7	90.2	4.1
	上津	74	59.5	33.8	4.1	2.7	-	93.2	6.8
	高牟礼	95	44.2	44.2	5.3	3.2	3.2	88.4	8.4
	千歳	88	50.0	39.8	2.3	3.4	4.5	89.8	5.7
	中央・西	245	59.6	33.9	2.9	0.8	2.9	93.5	3.7
	田主丸	58	62.1	25.9	10.3	-	1.7	87.9	10.3
	北野	53	52.8	34.0	11.3	-	1.9	86.8	11.3
	城島	42	71.4	19.0	2.4	4.8	2.4	90.5	7.1
	三瀨	54	48.1	33.3	9.3	9.3	-	81.5	18.5
	無回答	7	85.7	14.3	-	-	-	100.0	-

(3) 安全・安心を最優先にして取り組むことに対する賛否

問5 あなたは、このように安全・安心を最優先にして取り組むことについて、どう思いますか。  
(○は1つ)

図表：安全・安心を最優先にして取り組むことに対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このように安全・安心を最優先にして取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**推進目標**

施設の安全・安心確保により、重大事故ゼロを目指します

目標達成のために

**推進方針** 安全確保

★施設の点検や診断を計画的に行い、安全性の維持向上に関する取組みを推進します

**結果の特徴**

- 安全・安心を最優先にして取り組むことについて、『賛成意見』は95.3%であり、9割を超えている。
- 『反対意見』は2.3%であり、1割以下となっている。

属性別の特徴

(性別)

- 大きな違いはみられない。

(年代別)

- 大きな違いはみられない。

(居住地区)

- 大きな違いはみられない。

図表：安全・安心を最優先にして取り組むことに対する賛否（性別、年代別、居住地区別）

	全 （回 答 体 数 ）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ % ）	『 賛 成 意 見 』 （ % ）	『 反 対 意 見 』 （ % ）	
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	76.7	18.5	1.7	0.6	2.5	95.3	2.3	
性 別	男性	377	78.5	16.4	2.4	0.8	1.9	95.0	3.2
	女性	505	75.4	20.0	1.2	0.4	3.0	95.4	1.6
	無回答	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-
年 代 別	10歳代・20歳代	79	78.5	17.7	1.3	1.3	1.3	96.2	2.5
	30歳代	116	78.4	17.2	2.6	-	1.7	95.7	2.6
	40歳代	144	73.6	21.5	0.7	0.7	3.5	95.1	1.4
	50歳代	154	71.4	25.3	0.6	0.6	1.9	96.8	1.3
	60歳代	227	81.1	14.1	1.8	-	3.1	95.2	1.8
	70歳以上	162	76.5	16.7	3.1	1.2	2.5	93.2	4.3
	無回答	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-
居 住 地 区 別	耳納	47	78.7	19.1	-	-	2.1	97.9	-
	筑邦	123	74.0	19.5	2.4	-	4.1	93.5	2.4
	上津	74	82.4	16.2	1.4	-	-	98.6	1.4
	高牟礼	95	72.6	21.1	3.2	1.1	2.1	93.7	4.2
	千歳	88	73.9	19.3	1.1	1.1	4.5	93.2	2.3
	中央・西	245	78.8	17.6	0.8	-	2.9	96.3	0.8
	田主丸	58	81.0	13.8	1.7	-	3.4	94.8	1.7
	北野	53	77.4	18.9	1.9	1.9	-	96.2	3.8
	城島	42	81.0	14.3	-	2.4	2.4	95.2	2.4
	三猪	54	66.7	25.9	5.6	1.9	-	92.6	7.4
	無回答	7	85.7	14.3	-	-	-	100.0	-

## (4) 計画案や今後の取組みの自由意見

## 問6 この計画案や今後の取組みについて、ご意見などをお聞かせください。

計画案や今後の取組みに関する意見として、249人から264件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：計画案や今後の取組みの自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
安心、安全性	51	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確保は最優先で取り組むべきだと思う</li> <li>安全確保は必要だが、どこにどのように費用、予算が使われているか分からない</li> <li>耐震性不足等ないように安全第一でお願いしたい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
統廃合・縮減	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の統廃合の際には、市民にアンケートをとり、十分な説明を行い、市民が納得した上で行ってほしい</li> <li>量を減らし、必要な所は完璧に修繕し、長く使っていきたい</li> <li>施設の統廃合については慎重に取り組んでほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
コスト縮減	46	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間委託には賛成</li> <li>施設にかかるコスト縮減は一概に賛成とは言えず、施設を長く使うには、長く使えるような設計やデザインでなければならない</li> <li>コスト縮減による、公共サービスの低下を招かないようにしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組をすることは良いと思うが、低予算で、どの程度出来るかをもっと考えた計画案を示してほしい</li> <li>計画案に具体性が無い</li> <li>無駄足を踏まない様に進めてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
市民負担	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用料を見直す場合、あまり高すぎると利用者が減るのでは</li> <li>市民に負担がかかるのが心配</li> <li>財政的目標は、市民の負担にならないようにしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 計画案や今後の取組みの自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
利便性、利用方法	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設は歩いて行ける距離、つまり校区内にひとつ位欲しい</li> <li>施設が中心部に偏ることなく、市民ひとりひとりが利用しやすいものとなってほしい</li> <li>コスト縮減等大事なことと思いますが、市民が平等に使用出来るよう、不便な地域のことも考慮してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
老朽化	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設は快適な空間であってほしく、古く暗いイメージの場所にはあまり足が向かない</li> <li>老朽化の進んでいる施設が多くなっているため、早急な対応が必要だと思う</li> <li>学校など、古くて危ないところなどがあるので、重大事故が起きないようにしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>一方的に推進せず、もっと市民の意見を反映するべき</li> <li>基本的には計画案に沿って課題解決に取り組むべきであり、施設の利用率が低いものについて、さらなるリストラが必要だと思う</li> <li>公共施設の収入を増やす方法を考えて欲しい。人が集まるようなアイデアが欲しい。減らす事ばかりではなく</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

## 自由意見の特徴

- 安心、安全性に関する意見が最も多く 51 件あった。その中では、災害対策等の意見が挙げられている。
- 統廃合やコスト縮減に関する意見も多く、統廃合・縮減に関する意見 47 件、コスト縮減に関する意見 46 件あった。その中では、統廃合に関する慎重な意見、コスト縮減によるサービスの低下等の意見が挙げられている。

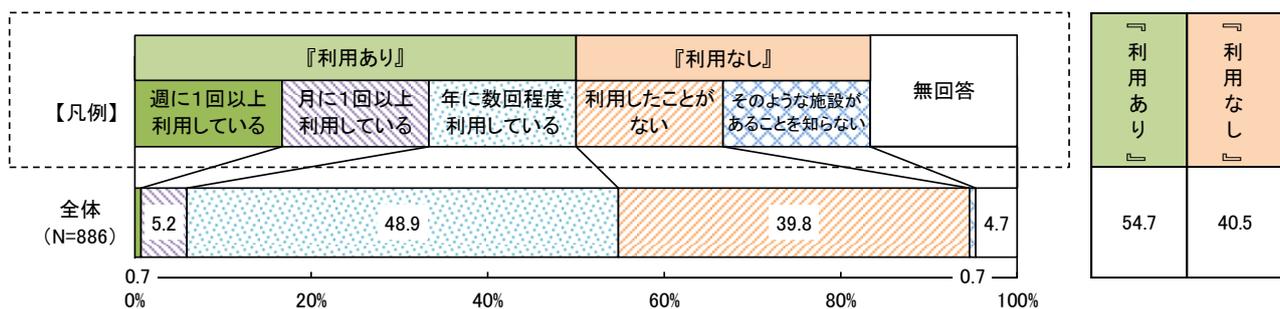
## 3. 施設類型ごとの取組み

## 文化施設について

## (1) 文化施設の利用頻度

問7 あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(〇は1つ)

図表：文化施設の利用頻度



※『利用あり』は、「週に1回以上利用している」、「月に1回以上利用している」、「年に数回程度利用している」をまとめたもの。

『利用なし』は、「利用したことがない」と「そのような施設があることを知らない」をまとめたもの。

※「このような施設」とは、以下のとおりである。

(主な施設) 【大規模ホール】 市民会館、石橋文化ホール  
 【中規模ホール】 共同ホール、そよ風ホール、城島総合文化センター、北野生涯学習センター など  
 ※このほかに久留米市シティプラザを整備中です。

## 結果の特徴

- 利用頻度について、『利用あり』と回答した人の割合は54.7%であり、5割を超えている。
- 『利用あり』と回答した人の中でも、『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」(0.7%) + 「月に1回以上利用している」(5.2%))と回答した人は、合わせて5.9%である。
- 『利用なし』は40.5%であり、約4割となっている。

属性別の特徴

(性別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、女性（59.6%）が男性（48.0%）より11.6ポイント高くなっている。

(性・年代別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、30～50歳代で男女の差が大きく概ね20ポイント程度の差がある。

(居住地区別)

- 『利用なし』と回答した人の割合が高い地区は、筑邦（51.2%）、三瀦（50.0%）であり、他の居住地区と比較して、約10ポイント以上高い結果となっている。
- 『利用あり』の中でも「月に1回以上利用している」と回答した人の割合は、北野（15.1%）城島（11.9%）で1割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。

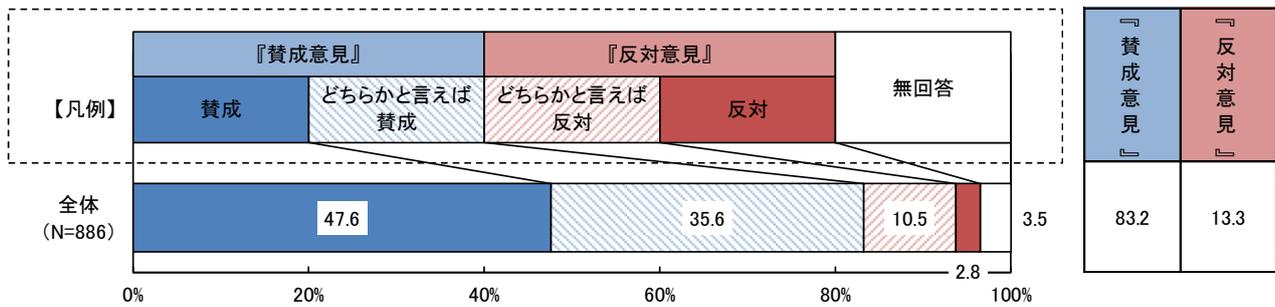
図表：文化施設の利用頻度（性別、性・年代別、居住地区別）

	全 回 答 数	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)			無 回 答 (%)	『利 用 あ り』 (%)	『利 用 な し』 (%)
		し 週 て に 1 回 以 上 利 用	し 月 て に 1 回 以 上 利 用	し 年 に 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な	い あ る こ と よ う な 施 設 が	そ の よ う な 施 設 が			
全 体	886	0.7	5.2	48.9	39.8	0.7	4.7	54.7	40.5	
性 別	男性	377	0.5	5.8	41.6	47.2	1.1	3.7	48.0	48.3
	女性	505	0.8	4.8	54.1	34.5	0.4	5.5	59.6	34.9
	無回答	4	-	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0
性 ・ 年 代 別	男性・10歳代・20歳代	40	-	10.0	52.5	32.5	2.5	2.5	62.5	35.0
	男性・30歳代	49	-	-	36.7	57.1	2.0	4.1	36.7	59.2
	男性・40歳代	57	-	7.0	47.4	43.9	-	1.8	54.4	43.9
	男性・50歳代	64	-	7.8	29.7	53.1	1.6	7.8	37.5	54.7
	男性・60歳代	103	1.0	3.9	43.7	48.5	-	2.9	48.5	48.5
	男性・70歳以上	64	1.6	7.8	42.2	43.8	1.6	3.1	51.6	45.3
	女性・10歳代・20歳代	39	-	2.6	53.8	33.3	-	10.3	56.4	33.3
	女性・30歳代	67	-	6.0	50.7	40.3	-	3.0	56.7	40.3
	女性・40歳代	87	2.3	-	65.5	26.4	-	5.7	67.8	26.4
	女性・50歳代	90	-	5.6	56.7	31.1	2.2	4.4	62.2	33.3
	女性・60歳代	124	1.6	5.6	44.4	41.9	-	6.5	51.6	41.9
	女性・70歳以上	98	-	7.1	56.1	31.6	-	5.1	63.3	31.6
	無回答	4	-	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0
居 住 地 区 別	耳納	47	4.3	4.3	46.8	42.6	-	2.1	55.3	42.6
	筑邦	123	-	2.4	41.5	51.2	-	4.9	43.9	51.2
	上津	74	1.4	4.1	55.4	37.8	-	1.4	60.8	37.8
	高牟礼	95	-	4.2	50.5	38.9	1.1	5.3	54.7	40.0
	千歳	88	1.1	4.5	54.5	34.1	1.1	4.5	60.2	35.2
	中央・西	245	0.4	3.7	53.9	36.7	1.2	4.1	58.0	38.0
	田主丸	58	-	6.9	46.6	39.7	-	6.9	53.4	39.7
	北野	53	1.9	15.1	45.3	30.2	1.9	5.7	62.3	32.1
	城島	42	-	11.9	50.0	33.3	-	4.8	61.9	33.3
	三瀦	54	-	7.4	31.5	50.0	-	11.1	38.9	50.0
	無回答	7	-	-	28.6	71.4	-	-	28.6	71.4

(2) 文化施設の取組方針に対する賛否

問8 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：文化施設の取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**文化施設の取組方針**

500席程度の中規模ホールを有する施設について、老朽化が進んで大規模な改修や建替えが必要となる時期に、施設廃止を含めた検討を行います。

結果の特徴

- 取組方針について、『賛成意見』は83.2%であり、8割を超えている。
- 『反対意見』は13.3%であり、1割を超えている。

属性別の特徴

(性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、男性(56.8%)より女性(41.0%)が15.8ポイント高くなっている。

(年代別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、年齢があがるにつれて高くなる傾向にあり60歳代、70歳以上では5割を超えている。

(居住地区別)

- 『反対意見』と回答した人の割合は、田主丸(25.9%)で2割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。また、『賛成意見』についても、田主丸(67.2%)は他の地域よりも10~20ポイント程度低い結果となっている。

(利用頻度別)

- 大きな違いはみられない。

図表：文化施設の取組方針に対する賛否（性別、年代別、居住地区別、利用頻度別）

	全 回答 数	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回答 (%)	『賛 成 意 見』 (%)	『反 対 意 見』 (%)	
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	47.6	35.6	10.5	2.8	3.5	83.2	13.3	
性 別	男性	377	56.8	27.9	9.3	3.2	2.9	84.6	12.5
	女性	505	41.0	41.2	11.5	2.6	3.8	82.2	14.1
	無回答	4	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
年 代 別	10歳代・20歳代	79	39.2	41.8	13.9	2.5	2.5	81.0	16.5
	30歳代	116	43.1	37.9	14.7	2.6	1.7	81.0	17.2
	40歳代	144	39.6	44.4	11.1	2.1	2.8	84.0	13.2
	50歳代	154	46.1	38.3	11.0	1.9	2.6	84.4	13.0
	60歳代	227	53.3	30.0	8.4	4.4	4.0	83.3	12.8
	70歳以上	162	56.2	27.8	8.0	2.5	5.6	84.0	10.5
	無回答	4	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
居 住 地 区 別	耳納	47	38.3	40.4	10.6	4.3	6.4	78.7	14.9
	筑邦	123	48.8	36.6	8.9	1.6	4.1	85.4	10.6
	上津	74	51.4	36.5	9.5	2.7	-	87.8	12.2
	高牟礼	95	42.1	37.9	12.6	3.2	4.2	80.0	15.8
	千歳	88	52.3	35.2	5.7	3.4	3.4	87.5	9.1
	中央・西	245	51.4	35.5	8.2	2.0	2.9	86.9	10.2
	田主丸	58	37.9	29.3	20.7	5.2	6.9	67.2	25.9
	北野	53	47.2	30.2	18.9	-	3.8	77.4	18.9
	城島	42	47.6	33.3	14.3	4.8	-	81.0	19.0
	三猪	54	44.4	37.0	7.4	5.6	5.6	81.5	13.0
	無回答	7	42.9	42.9	14.3	-	-	85.7	14.3
頻 利 用 別	『利用あり』	485	44.9	37.7	12.0	3.1	2.3	82.7	15.1
	『利用なし』	359	51.3	34.3	9.7	2.8	1.9	85.5	12.5
	無回答	42	47.6	21.4	-	-	31.0	69.0	-

## (3) 文化施設の取組方針の自由意見

**問9 文化施設の取組方針にご意見や感じる事があれば、ご記入ください。**

文化施設の取組方針に関しての意見として、253人から268件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：文化施設の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
取組方針に賛成	92	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 少なくなると困るのかもしれないが、良いものを、良い雰囲気を楽しみたい</li> <li>• 老朽化が進んだ中規模ホールは、今後を見据えて、使用の頻度が少ない施設は廃止した方がいい</li> <li>• 使用回数が少ない施設は廃止して、経費を減らしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に反対	41	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中規模ホールは老朽化が進んだら、廃止するということになると久留米市中心部まで行かないといけなく不便</li> <li>• 文化施設の廃止はなるべく避けたい</li> <li>• 文化施設を利用している人がいる限り、施設を維持してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
利便性、活用方法	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出来ればもっと色々な事、イベントに活用してほしい</li> <li>• 施設廃止よりも、もっと多目的に使えるように改修できればと思う</li> <li>• バリアフリーを進めてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
市民の利用意向や必要性	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設廃止のときは利用者の意見を聞いてほしい</li> <li>• 必要かどうかきちんと検証してほしい。改修、建替えありきではないようにしてほしい</li> <li>• 利用者の声、意見を聞いた上で、施設廃止を含めた検討を行ってほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
久留米市シティプラザ	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財政逼迫の今、中規模ホールは廃止すべきと考えている。大は小を兼ねる。すべてはシティプラザを活用すべき</li> <li>• 久留米市シティプラザを利用する</li> <li>• 久留米シティプラザのオープンに期待している。今後のまちづくりの礎になってほしいので</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 文化施設の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
財政	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホールとかは民間委託して、活用をはかるべきと思う</li> <li>・ 維持管理費に見合う収益が得られない不採算施設は施設を廃止し、採算が得られる施設の充実をはかるほうが良いと考える</li> <li>・ 必要なものは必要、他の出費を削って費用を捻出すべきだと思う など</li> </ul>
その他	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設が多過ぎる事がないようにしてほしい</li> <li>・ 十分な検討の上での、情報公開を望む</li> <li>・ 始めから無駄なホールは作らないでほしい など</li> </ul>

## 自由意見の特徴

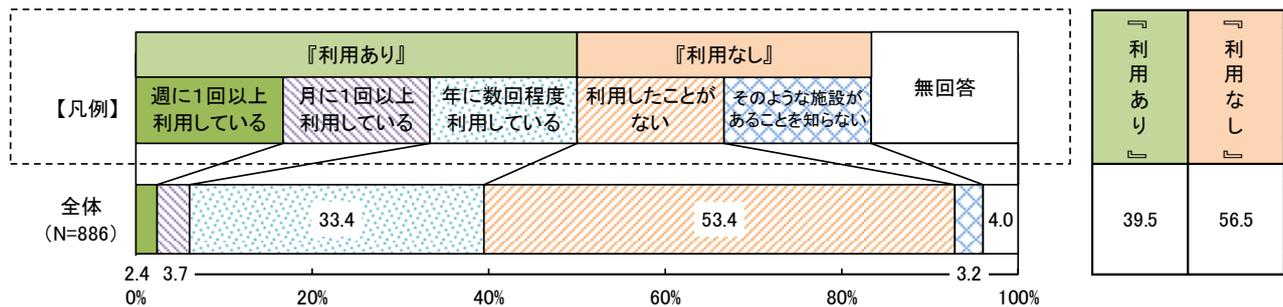
- 取組方針に賛成する意見が多く 92 件あった。その中では、老朽化や使用回数が少ない施設は廃止した方がよい等の意見が挙げられている。
- 取組方針に反対する意見も 41 件あった。その中では、不便になる、利用している人がいる限り維持してほしい等の意見が挙げられている。

## 生涯学習施設等について

## (1) 生涯学習施設等の利用頻度

問10 あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(〇は1つ)

図表：生涯学習施設等の利用頻度



※『利用あり』は、「週に1回以上利用している」、「月に1回以上利用している」、「年に数回程度利用している」をまとめたもの。

『利用なし』は、「利用したことがない」と「そのような施設があることを知らない」をまとめたもの。

※「このような施設」とは、以下のとおりである。

(主な施設) えーるピア久留米、勤労青少年ホーム、高牟礼会館、  
市民センター多目的棟、サンライフ久留米 など

## 結果の特徴

- 利用頻度について、『利用あり』は39.5%であり、約4割となっている。
- 『利用あり』と回答した人の中でも、『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」(2.4%) + 「月に1回以上利用している」(3.7%))と回答した人は、合わせて6.1%である。
- 『利用なし』は56.5%であり、5割を超えている。

属性別の特徴

(性別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、女性（45.5%）が男性（31.6%）より13.9ポイント高くなっている。

(年代別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、10歳代・20歳代～40歳代で4割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

(性・年代別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、すべての年代で女性の方が高くなっている。その中で、10歳代・20歳代、30歳代の女性が10歳代・20歳代、30歳代の男性より約20～30ポイント高い結果となっている。

(居住地区別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、耳納（48.9%）、上津（45.9%）、千歳（45.5%）、中央・西（46.9%）で4割台後半となっており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 「利用したことがない」と回答した人の割合は、城島（73.8%）で7割を超えており、他の居住地区と比べて高い結果となっている。

図表：生涯学習施設等の利用頻度（性別、年代別、性・年代別）

	全 回答 数	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)			無 回答 (%)	『 利用 あり 』 (%)	『 利用 なし 』 (%)
		し 週 て に 1 回 以 上 利 用	し 月 て に 1 回 以 上 利 用	し 年 て に 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な い	い あ る こ よ う な こ と を 知 ら な が い	そ の よ う な 施 設 が な い			
全 体	886	2.4	3.7	33.4	53.4	3.2	4.0	39.5	56.5	
性別	男性	377	2.1	2.9	26.5	61.3	3.2	4.0	31.6	64.5
	女性	505	2.6	4.4	38.6	47.5	3.0	4.0	45.5	50.5
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
年代別	10歳代・20歳代	79	1.3	3.8	39.2	49.4	3.8	2.5	44.3	53.2
	30歳代	116	-	3.4	40.5	50.9	3.4	1.7	44.0	54.3
	40歳代	144	0.7	3.5	45.1	44.4	4.2	2.1	49.3	48.6
	50歳代	154	1.3	3.2	33.8	51.9	3.9	5.8	38.3	55.8
	60歳代	227	3.5	3.5	26.0	59.9	2.2	4.8	33.0	62.1
	70歳以上	162	5.6	4.9	25.3	57.4	1.9	4.9	35.8	59.3
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
性・年代別	男性・10歳代・20歳代	40	2.5	7.5	25.0	65.0	-	-	35.0	65.0
	男性・30歳代	49	-	-	26.5	63.3	6.1	4.1	26.5	69.4
	男性・40歳代	57	1.8	5.3	38.6	50.9	3.5	-	45.6	54.4
	男性・50歳代	64	1.6	3.1	21.9	60.9	4.7	7.8	26.6	65.6
	男性・60歳代	103	1.0	1.9	24.3	68.0	1.9	2.9	27.2	69.9
	男性・70歳以上	64	6.3	1.6	25.0	56.3	3.1	7.8	32.8	59.4
	女性・10歳代・20歳代	39	-	-	53.8	33.3	7.7	5.1	53.8	41.0
	女性・30歳代	67	-	6.0	50.7	41.8	1.5	-	56.7	43.3
	女性・40歳代	87	-	2.3	49.4	40.2	4.6	3.4	51.7	44.8
	女性・50歳代	90	1.1	3.3	42.2	45.6	3.3	4.4	46.7	48.9
	女性・60歳代	124	5.6	4.8	27.4	53.2	2.4	6.5	37.9	55.6
	女性・70歳以上	98	5.1	7.1	25.5	58.2	1.0	3.1	37.8	59.2
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0

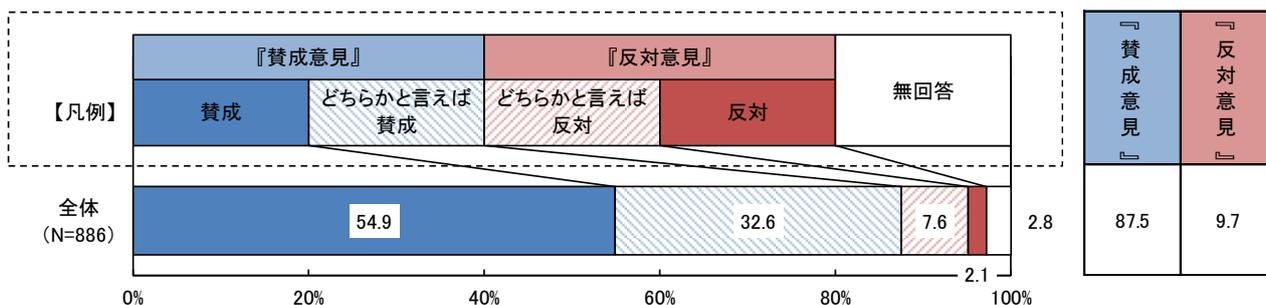
図表：生涯学習施設等の利用頻度（居住地区別）

	全 回 答 数	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)			無 回 答 (%)	『利 用 あ り』 (%)	『利 用 な し』 (%)
		し 週 に 1 回 以 上 利 用	し 月 に 1 回 以 上 利 用	し 年 に 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な	い あ る こ と を 知 ら な	そ の よ う な 施 設 が			
全 体	886	2.4	3.7	33.4	53.4	3.2	4.0	39.5	56.5	
居 住 地 区 別	耳納	47	2.1	6.4	40.4	46.8	2.1	2.1	48.9	48.9
	筑邦	123	1.6	3.3	29.3	61.0	1.6	3.3	34.1	62.6
	上津	74	2.7	5.4	37.8	47.3	1.4	5.4	45.9	48.6
	高牟礼	95	4.2	3.2	28.4	57.9	2.1	4.2	35.8	60.0
	千歳	88	1.1	5.7	38.6	47.7	3.4	3.4	45.5	51.1
	中央・西	245	2.9	3.7	40.4	45.7	4.9	2.4	46.9	50.6
	田主丸	58	1.7	1.7	27.6	56.9	1.7	10.3	31.0	58.6
	北野	53	3.8	3.8	30.2	56.6	1.9	3.8	37.7	58.5
	城島	42	-	-	23.8	73.8	2.4	-	23.8	76.2
	三渚	54	1.9	3.7	20.4	57.4	7.4	9.3	25.9	64.8
	無回答	7	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0

(2) 生涯学習施設等の取組方針に対する賛否

問11 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：生涯学習施設等の取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**生涯学習施設等の取組方針**

貸室の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

結果の特徴

- 取組方針について、『賛成意見』は87.5%であり、約9割となっている。
- 『反対意見』は9.7%であり、1割以下となっている。

## 属性別の特徴

## (性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、男性(61.5%)が女性(50.1%)より11.4ポイント高くなっている。

## (年代別)

- 大きな違いはみられない。

## (居住地区別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、上津(60.8%)、城島(64.3%)で6割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 『反対意見』と回答した人の割合は、北野(18.9%)、三瀧(18.5%)で約2割となっており、他の居住地区と比べて高くなっている。

## (利用頻度別)

- 大きな違いはみられない。

図表：生涯学習施設等の取組方針に対する賛否（性別、年代別、居住地区別、利用頻度別）

	全 回答 数	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回答 (%)	『 賛成 意見 』 (%)	『 反対 意見 』 (%)	
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	54.9	32.6	7.6	2.1	2.8	87.5	9.7	
性 別	男性	377	61.5	27.6	5.3	2.4	3.2	89.1	7.7
	女性	505	50.1	36.2	9.1	2.0	2.6	86.3	11.1
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0
年 代 別	10歳代・20歳代	79	48.1	41.8	5.1	2.5	2.5	89.9	7.6
	30歳代	116	57.8	32.8	6.9	0.9	1.7	90.5	7.8
	40歳代	144	53.5	38.9	5.6	1.4	0.7	92.4	6.9
	50歳代	154	51.9	35.1	9.1	1.9	1.9	87.0	11.0
	60歳代	227	55.9	29.1	8.8	2.6	3.5	85.0	11.5
	70歳以上	162	59.3	24.7	7.4	3.1	5.6	84.0	10.5
	無回答	4	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0
居 住 地 区 別	耳納	47	44.7	40.4	6.4	2.1	6.4	85.1	8.5
	筑邦	123	56.9	30.1	8.1	-	4.9	87.0	8.1
	上津	74	60.8	29.7	4.1	4.1	1.4	90.5	8.1
	高牟礼	95	51.6	33.7	7.4	3.2	4.2	85.3	10.5
	千歳	88	56.8	33.0	4.5	3.4	2.3	89.8	8.0
	中央・西	245	55.9	34.3	6.5	1.2	2.0	90.2	7.8
	田主丸	58	55.2	31.0	8.6	1.7	3.4	86.2	10.3
	北野	53	47.2	34.0	17.0	1.9	-	81.1	18.9
	城島	42	64.3	26.2	7.1	2.4	-	90.5	9.5
	三瀧	54	46.3	31.5	13.0	5.6	3.7	77.8	18.5
	無回答	7	71.4	28.6	-	-	-	100.0	-
頻 度 別	『利用あり』	350	50.6	36.9	8.9	3.1	0.6	87.4	12.0
	『利用なし』	501	58.5	31.1	6.8	1.4	2.2	89.6	8.2
	無回答	35	45.7	11.4	5.7	2.9	34.3	57.1	8.6

(3) 生涯学習施設等の取組方針の自由意見

問12 生涯学習施設等の取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

生涯学習施設等の取組方針に関しての意見として、212人から221件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：生涯学習施設等の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
取組方針に賛成	78	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持費に対して利用率が極端に低ければ、統廃合すべきだと思う</li> <li>利用率が悪い場合、統廃合も仕方ないと思う</li> <li>取組は賛成だが、何の工夫もないので、利用率を上げる取組を考えてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
利便性、活用方法	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率が低い場合、誰もが利用しやすいものにし、利用率を向上させるべき</li> <li>施設利用方法や利用状況など市民に分かりやすく広報し、利用率を向上させる策をまず検討してほしい</li> <li>利用率が低い場合だけを想定して、今後推進を進めているように思われる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に反対	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率が低くても、偏っていても、その人々にとっての幸せに必要なならば必要</li> <li>市民が気軽に利用できる施設を廃止することは、あまり好ましくないと思う</li> <li>今までは利用していないが、これからのことを考えると利用していきたいと思っているのでなるべく多く残してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
利用状況	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように利用されているのか、全く分からない</li> <li>特定団体の活動内容によるが、利用数が多いのであれば、改修等してほしい</li> <li>一部の人のためだけにしない工夫してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 生涯学習施設等の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
周知不足	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アピールが少なく、利用機会が分からない</li> <li>・ いろんな施設が出来ても市民にはあまり届いていない</li> <li>・ 各施設で、どのようなことが利用できるのか市民で知らない方も多いのではないかと、広報くろめ以外での広報活動も必要ではないか</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
使い勝手	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近くに施設があれば参加出来るけど、遠くであれば考える</li> <li>・ 利用するのに交通手段が厳しい所もある</li> <li>・ 統廃合する事によって、場所が遠くなり不便になると、ますます使用しなくなるのでは</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校、中学校等、空き部屋があるのではないか。そんな所を利用してはどうか</li> <li>・ もっと民意を反映して、決定すべき案件だと思う</li> <li>・ 地域の方々のいろんな意見を取り入れながら行ってほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

## 自由意見の特徴

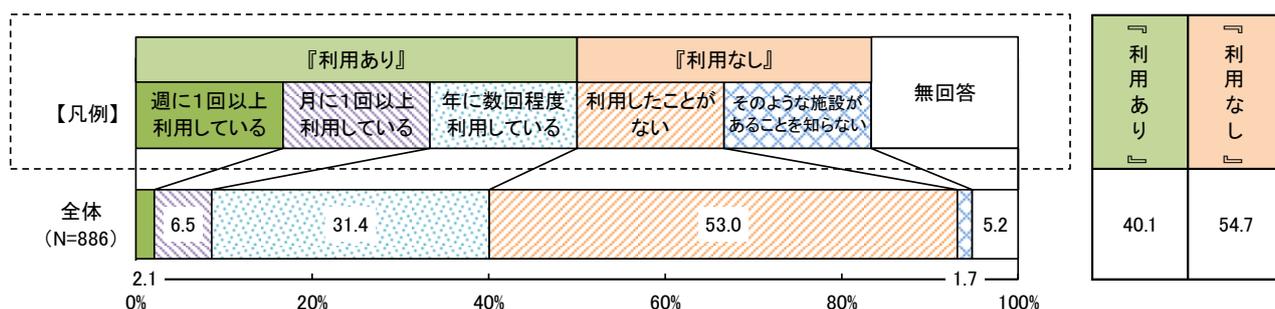
- 取組方針に賛成する意見が最も多く 78 件あった。その中では、利用率が悪い場合は統廃合も必要である、賛成だが利用率を上げる取組みを考えてほしい等の意見が挙がっている。
- 取組方針に反対する意見も 22 件あった。その中では、市民が気軽に利用できる施設を廃止するのはよくない、これから利用の可能性があるので残してほしい等の意見が挙がっている。

校区コミュニティセンターについて

(1) 校区コミュニティセンターの利用頻度

問13 あなたは、校区コミュニティセンターを利用したことがありますか。(〇は1つ)

図表：校区コミュニティセンターの利用頻度



※『利用あり』は、「週に1回以上利用している」、「月に1回以上利用している」、「年に数回程度利用している」をまとめたもの。

『利用なし』は、「利用したことがない」と「そのような施設があることを知らない」をまとめたもの。

結果の特徴

- 利用頻度について、『利用あり』は40.1%であり、約4割となっている。
- 『利用あり』と回答した人の中で、『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」(2.1%) + 「月に1回以上利用している」(6.5%))と回答した人は、合わせて8.6%である。
- 『利用なし』は54.7%であり、5割を超えている。

## 属性別の特徴

## (性別)

- 大きな違いはみられない。

## (年代別)

- 「月に1回以上利用している」と回答した人の割合は、70歳以上（13.0%）で1割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

## (居住地区別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、北野（54.7%）で5割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 『利用あり』と回答した人の割合が低いのは、城島（28.6%）、田主丸（31.0%）、三潁（33.3%）となっており、約3割となっている。
- 『利用なし』と回答した人の割合は、千歳（39.8%）、北野（43.4%）、耳納（44.7%）の3地域が約4割となっている。

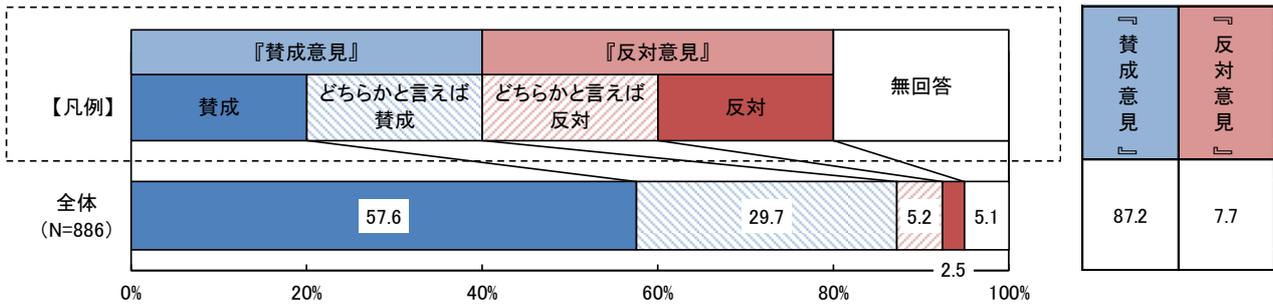
図表：校区コミュニティセンターの利用頻度（性別、年代別、居住地区別）

	（全 回答数）	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)			無 回答（%）	『利 用 あ り』 （%）	『利 用 な し』 （%）
		し 週 て に 1 回 以 上 利 用	し 月 て に 1 回 以 上 利 用	し 年 て に 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な	い あ る こ と を 知 ら な	そ の よ う な 施 設 が			
全 体	886	2.1	6.5	31.4	53.0	1.7	5.2	40.1	54.7	
性 別	男性	377	0.8	5.0	31.6	54.1	2.4	6.1	37.4	56.5
	女性	505	3.2	7.7	31.3	52.3	1.0	4.6	42.2	53.3
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
年 代 別	10歳代・20歳代	79	-	-	35.4	57.0	-	7.6	35.4	57.0
	30歳代	116	2.6	6.0	24.1	60.3	2.6	4.3	32.8	62.9
	40歳代	144	1.4	6.3	40.3	47.2	0.7	4.2	47.9	47.9
	50歳代	154	1.9	2.6	31.2	54.5	3.2	6.5	35.7	57.8
	60歳代	227	2.2	7.5	30.8	54.6	0.9	4.0	40.5	55.5
	70歳以上	162	3.7	13.0	27.8	47.5	1.9	6.2	44.4	49.4
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
居 住 地 区 別	耳納	47	4.3	12.8	31.9	44.7	-	6.4	48.9	44.7
	筑邦	123	0.8	7.3	34.1	54.5	-	3.3	42.3	54.5
	上津	74	-	10.8	28.4	54.1	1.4	5.4	39.2	55.4
	高牟礼	95	4.2	6.3	30.5	53.7	1.1	4.2	41.1	54.7
	千歳	88	1.1	5.7	43.2	36.4	3.4	10.2	50.0	39.8
	中央・西	245	2.9	4.1	30.2	55.1	2.9	4.9	37.1	58.0
	田主丸	58	1.7	12.1	17.2	60.3	-	8.6	31.0	60.3
	北野	53	3.8	5.7	45.3	41.5	1.9	1.9	54.7	43.4
	城島	42	2.4	2.4	23.8	69.0	-	2.4	28.6	69.0
	三潁	54	-	5.6	27.8	57.4	3.7	5.6	33.3	61.1
	無回答	7	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0

(2) 校区コミュニティセンターの取組方針に対する賛否

問14 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：校区コミュニティセンターの取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**校区コミュニティセンターの取組方針**

校区での地域活動による利用の他に、市民の生涯学習などを含め、より幅広く利用することで、施設をより有効に利用していきます。

**結果の特徴**

- 取組方針について『賛成意見』は87.2%であり、約9割となっている。
- 『反対意見』は7.7%であり、1割以下となっている。

## 属性別の特徴

## (性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、男性(54.4%)が女性(45.5%)より8.9ポイント高くなっている。

## (年代別)

- 大きな違いはみられない。

## (居住地区別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、城島(38.1%)が4割を下回っており、他の居住地区と比べて低くなっている。

## (利用頻度別)

- 校区コミュニティセンターの取組方針(地域活動の他に、生涯学習等を含め、より幅広く利用する)に『賛成意見』と回答した人の割合は、利用頻度別で『利用あり』と回答した人のほうが高く、97.2%となっている。校区コミュニティセンターを利用している人の多くは、より幅広く利用することに賛成していることが読み取れる。

図表：校区コミュニティセンターの取組方針に対する賛否  
(性別、年代別、居住地区別、利用頻度別)

	全 回答 数	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回答 (%)	『 賛成 意見 』 (%)	『 反対 意見 』 (%)	
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	57.6	29.7	5.2	2.5	5.1	87.2	7.7	
性 別	男性	377	54.6	29.2	6.1	3.4	6.6	83.8	9.5
	女性	505	60.0	29.9	4.6	1.8	3.8	89.9	6.3
	無回答	4	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
年 代 別	10歳代・20歳代	79	59.5	32.9	2.5	-	5.1	92.4	2.5
	30歳代	116	64.7	25.9	3.4	1.7	4.3	90.5	5.2
	40歳代	144	52.8	33.3	4.2	5.6	4.2	86.1	9.7
	50歳代	154	50.6	33.1	7.8	3.9	4.5	83.8	11.7
	60歳代	227	63.4	26.4	5.7	0.4	4.0	89.9	6.2
	70歳以上	162	54.9	28.4	5.6	3.1	8.0	83.3	8.6
	無回答	4	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
居 住 地 区 別	耳納	47	63.8	31.9	2.1	-	2.1	95.7	2.1
	筑邦	123	56.1	30.9	7.3	0.8	4.9	87.0	8.1
	上津	74	66.2	20.3	4.1	4.1	5.4	86.5	8.1
	高牟礼	95	53.7	31.6	4.2	5.3	5.3	85.3	9.5
	千歳	88	51.1	31.8	8.0	1.1	8.0	83.0	9.1
	中央・西	245	64.5	25.7	3.7	0.8	5.3	90.2	4.5
	田主丸	58	51.7	29.3	1.7	6.9	10.3	81.0	8.6
	北野	53	50.9	39.6	3.8	3.8	1.9	90.6	7.5
	城島	42	38.1	45.2	11.9	2.4	2.4	83.3	14.3
	三猪	54	57.4	29.6	5.6	5.6	1.9	87.0	11.1
	無回答	7	57.1	14.3	28.6	-	-	71.4	28.6
頻 利 用 別	『利用あり』	355	74.9	22.3	1.7	0.6	0.6	97.2	2.3
	『利用なし』	485	48.0	36.7	7.8	4.1	3.3	84.7	12.0
	無回答	46	23.9	13.0	4.3	-	58.7	37.0	4.3

(3) 校区コミュニティセンターの取組方針の自由意見

問15 校区コミュニティセンターの取組方針にご意見や感じるがあれば、ご記入ください。

校区コミュニティセンターの取組方針に関する意見として、216人から234件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：校区コミュニティセンターの取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
利便性、利用方法の改善	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の一部に限られた人だけ利用し、後の人は利用しにくいのでは</li> <li>・ 校区コミュニティセンターの利用が現実に利用しにくい</li> <li>・ 校区の拠点となり、地域住民の相談や活動などの支援をしてもらえるようになれば、より安心かと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
必要性	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民にとっては必要と思う</li> <li>・ 校区発展の為、コミュニティセンターの利用は大いに必要と思う</li> <li>・ 高齢化社会となり、地域には必要な施設だと感じる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
他施設と統廃合	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校施設と併合し、空き教室などを利用する</li> <li>・ 統廃合の検討はできないのか</li> <li>・ 校区コミュニティセンターは必要でなく、小学校の体育館を使用すればいい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に賛成	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区コミュニティセンターは、地域住民にとって、必要不可欠の場所であるので、効率的かつ有効に利用していければと思う</li> <li>・ まちづくりの為に色々な事に利用してもらう方がいいと思う</li> <li>・ 魅力的なソフト事業を充実させ、地域の老人や子供、幼児などが、より多く行ける環境になるといい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
周知不足	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティセンターの施設は、利用の仕方が分からない</li> <li>・ 気軽に使えるようにし、そのような宣伝もしていってほしい</li> <li>・ もっとアピールしないと、何をしているか分からない</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 校区コミュニティセンターの取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
その他	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設外でのマナーが悪い</li> <li>• どのような内容が求められているのか、調査した上で生涯学習を設定してほしい</li> <li>• 利用したことがない</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

## 自由意見の特徴

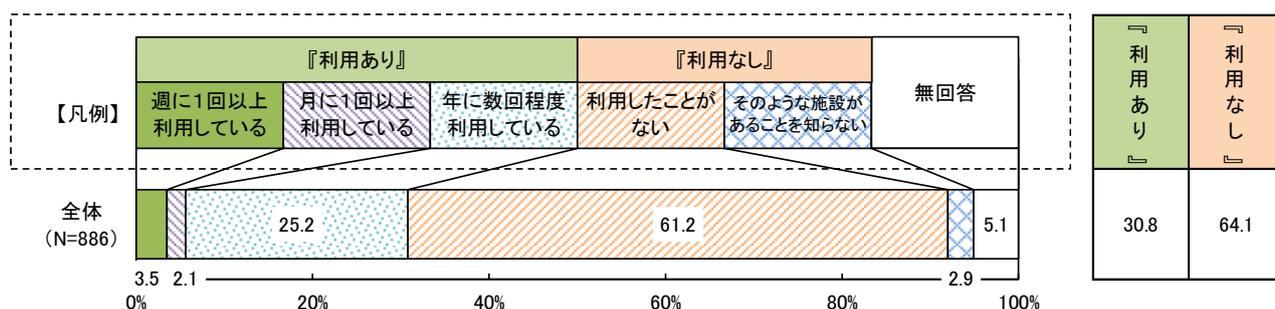
- 利便性、利用方法の改善に関する意見が最も多く 70 件あった。その中では、利用しづらい、地域の拠点となるような方法で利用できるようにしてほしい等の意見が挙げられている。

体育施設について

(1) 体育施設の利用頻度

問16 あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(〇は1つ)

図表：体育施設の利用頻度



※『利用あり』は、「週に1回以上利用している」、「月に1回以上利用している」、「年に数回程度利用している」をまとめたもの。

『利用なし』は、「利用したことがない」と「そのような施設があることを知らない」をまとめたもの。

※「このような施設」とは、以下のとおりである。

(主な施設) 荘島体育館、みづま総合体育館、西部地区体育館、西田体育館、市民温水プール、筑後川漕艇場 など  
 ※このほかに、武道場と弓道場を県立体育館と一体的に建替え整備中です。

結果の特徴

- 利用頻度について、『利用あり』は30.8%であり、約3割となっている。
- 『利用あり』と回答した人の中で、『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」(3.5%) + 「月に1回以上利用している」(2.1%))と回答した人は、合わせて5.6%である。
- 『利用なし』は64.1%であり、6割を超えている。

属性別の特徴

(性別)

- 大きな違いはみられない。

(年代別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、10歳代・20歳代～40歳代で概ね4割～5割となっており、他の年代と比べて高くなっている。これらの年代では、男女ともに利用している割合が高い傾向にある。

(居住地区別)

- 『利用あり』と回答した人の割合は、三瀨（44.4%）で4割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 「利用したことがない」と回答した人の割合は、耳納（74.5%）、城島（73.8%）で7割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。

図表：体育施設の利用頻度（性別、年代別、性・年代別）

	全 体 （回 答 数）	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)			無 回 答 （%）	『利 用 あ り』 （%）	『利 用 な し』 （%）
		し 週 に い 1 回 以 上 利 用	し 月 に い 1 回 以 上 利 用	し 年 に い 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な い	い あ る よ う な こ と を 知 ら な い	そ の よ う な 施 設 が な い			
全 体	886	3.5	2.1	25.2	61.2	2.9	5.1	30.8	64.1	
性 別	男性	377	3.2	2.7	26.3	59.7	2.7	5.6	32.1	62.3
	女性	505	3.8	1.8	24.4	62.4	3.0	4.8	29.9	65.3
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
年 代 別	10歳代・20歳代	79	2.5	5.1	34.2	45.6	5.1	7.6	41.8	50.6
	30歳代	116	2.6	4.3	32.8	52.6	4.3	3.4	39.7	56.9
	40歳代	144	6.3	1.4	43.1	45.8	0.7	2.8	50.7	46.5
	50歳代	154	3.2	2.6	19.5	65.6	2.6	6.5	25.3	68.2
	60歳代	227	3.1	0.4	17.2	73.1	2.6	3.5	20.7	75.8
	70歳以上	162	3.1	1.9	16.0	67.9	3.1	8.0	21.0	71.0
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
性 ・ 年 代 別	男性・10歳代・20歳代	40	-	7.5	37.5	45.0	5.0	5.0	45.0	50.0
	男性・30歳代	49	2.0	4.1	28.6	55.1	4.1	6.1	34.7	59.2
	男性・40歳代	57	7.0	-	43.9	42.1	1.8	5.3	50.9	43.9
	男性・50歳代	64	3.1	4.7	12.5	75.0	-	4.7	20.3	75.0
	男性・60歳代	103	3.9	1.0	23.3	64.1	2.9	4.9	28.2	67.0
	男性・70歳以上	64	1.6	1.6	20.3	65.6	3.1	7.8	23.4	68.8
	女性・10歳代・20歳代	39	5.1	2.6	30.8	46.2	5.1	10.3	38.5	51.3
	女性・30歳代	67	3.0	4.5	35.8	50.7	4.5	1.5	43.3	55.2
	女性・40歳代	87	5.7	2.3	42.5	48.3	-	1.1	50.6	48.3
	女性・50歳代	90	3.3	1.1	24.4	58.9	4.4	7.8	28.9	63.3
	女性・60歳代	124	2.4	-	12.1	80.6	2.4	2.4	14.5	83.1
	女性・70歳以上	98	4.1	2.0	13.3	69.4	3.1	8.2	19.4	72.4
	無回答	4	-	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0

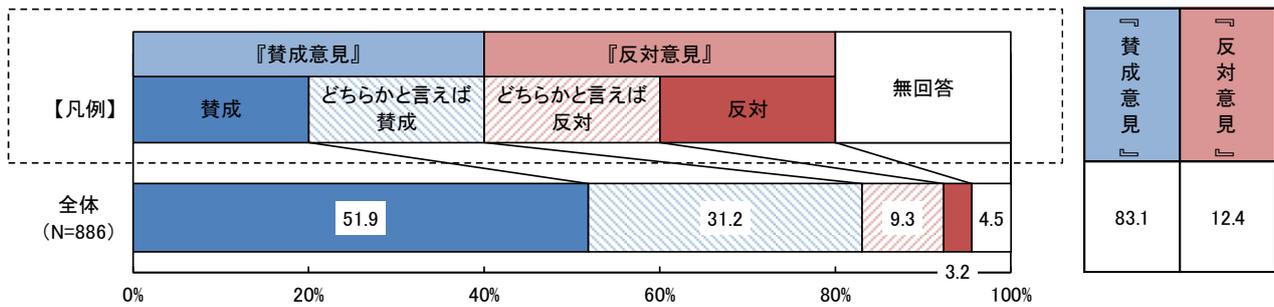
図表：体育施設の利用頻度（居住地区別）

	全 体 （ 回 答 数 ）	『利用あり』(%)			『利用なし』(%)		無 回 答 （ % ）	『 利 用 あ り 』 （ % ）	『 利 用 な し 』 （ % ）	
		し 週 に 1 回 以 上 利 用	し 月 に 1 回 以 上 利 用	し 年 に 数 回 程 度 利 用	い 利 用 し た こ と が な	い あ る こ と を 知 ら な				そ の よ う な 施 設 が
全 体	886	3.5	2.1	25.2	61.2	2.9	5.1	30.8	64.1	
居 住 地 区 別	耳納	47	4.3	2.1	14.9	74.5	-	4.3	21.3	74.5
	筑邦	123	2.4	-	29.3	61.0	4.1	3.3	31.7	65.0
	上津	74	6.8	-	29.7	52.7	-	10.8	36.5	52.7
	高牟礼	95	2.1	3.2	27.4	61.1	1.1	5.3	32.6	62.1
	千歳	88	2.3	1.1	23.9	58.0	6.8	8.0	27.3	64.8
	中央・西	245	3.3	2.9	26.9	60.0	3.7	3.3	33.1	63.7
	田主丸	58	3.4	1.7	12.1	63.8	8.6	10.3	17.2	72.4
	北野	53	3.8	3.8	24.5	64.2	-	3.8	32.1	64.2
	城島	42	2.4	2.4	16.7	73.8	-	4.8	21.4	73.8
	三猪	54	7.4	5.6	31.5	53.7	-	1.9	44.4	53.7
	無回答	7	-	-	14.3	85.7	-	-	14.3	85.7

(2) 体育施設の取組方針に対する賛否

問17 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：体育施設の取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**体育施設の取組方針**

施設の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

**結果の特徴**

- 取組方針について、『賛成意見』は83.1%であり、8割を超えている。
- 『反対意見』は12.4%であり、1割を超えている。

属性別の特徴

(性別)

- 大きな違いはみられない。

(年代別)

- 大きな違いはみられない。

(居住地区別)

- 『反対意見』と回答した人の割合は、三瀨（25.9%）で2割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。

(利用頻度別)

- 『賛成意見』と回答した人の割合は、『利用あり』で78.4%であり、『利用なし』（90.1%）と回答した人より約10ポイント程度低い結果となっている。

図表：体育施設の取組方針に対する賛否（性別、年代別、居住地区別、利用頻度別）

	全 （回 答 体 数 ）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ % ）	『 賛 成 意 見 』 （ % ）	『 反 対 意 見 』 （ % ）	
		賛 成	賛 ど ち ら か と 言 え ば	反 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	51.9	31.2	9.3	3.2	4.5	83.1	12.4	
性 別	男性	377	56.0	26.8	8.0	4.0	5.3	82.8	11.9
	女性	505	48.9	34.3	10.3	2.6	4.0	83.2	12.9
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
年 代 別	10歳代・20歳代	79	49.4	31.6	10.1	3.8	5.1	81.0	13.9
	30歳代	116	54.3	29.3	12.1	0.9	3.4	83.6	12.9
	40歳代	144	49.3	35.4	7.6	4.2	3.5	84.7	11.8
	50歳代	154	42.2	40.9	10.4	3.2	3.2	83.1	13.6
	60歳代	227	54.6	28.6	9.7	3.5	3.5	83.3	13.2
	70歳以上	162	59.3	22.2	6.8	3.1	8.6	81.5	9.9
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
居 住 地 区 別	耳納	47	46.8	31.9	14.9	-	6.4	78.7	14.9
	筑邦	123	54.5	30.9	10.6	0.8	3.3	85.4	11.4
	上津	74	55.4	29.7	6.8	2.7	5.4	85.1	9.5
	高牟礼	95	48.4	28.4	10.5	4.2	8.4	76.8	14.7
	千歳	88	54.5	31.8	3.4	4.5	5.7	86.4	8.0
	中央・西	245	51.8	33.9	8.6	2.0	3.7	85.7	10.6
	田主丸	58	51.7	25.9	6.9	6.9	8.6	77.6	13.8
	北野	53	43.4	41.5	11.3	3.8	-	84.9	15.1
	城島	42	57.1	31.0	7.1	2.4	2.4	88.1	9.5
	三瀨	54	51.9	20.4	16.7	9.3	1.9	72.2	25.9
	無回答	7	57.1	28.6	14.3	-	-	85.7	14.3
頻 利 用 別	『利用あり』	273	41.8	36.6	16.1	5.5	-	78.4	21.6
	『利用なし』	568	60.0	30.1	6.0	1.9	1.9	90.1	7.9
	無回答	45	11.1	11.1	8.9	4.4	64.4	22.2	13.3

## (3) 体育施設の取組方針の自由意見

**問 18 体育施設の取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。**

体育施設の取組方針に関しての意見として、197人から205件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：体育施設の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
利用方法	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の団体に偏って利用しているのは問題あるので、もっと簡単に利用できるようにしてもらいたい</li> <li>利用しやすい環境づくりと啓蒙活動により幅広い人が利用できるようにすべき</li> <li>体育施設をもっと利用する方針を考えられないか</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に賛成	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館はある程度は必要でしょうが、子どもは減り、老人は増えるこれからの思うと、統合してもいいところもある</li> <li>不採算施設は統廃合して残した施設の利用率を高めるのがいいと思う</li> <li>統廃合はやむを得ないかもしれない</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に反対	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>統廃合すると、高齢者の利用がしにくくなる</li> <li>体育施設が少ない気がする</li> <li>家から近い所にあるので便利に感じるが、遠くなれば利用減になることと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
運営	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間の事業者にまかせて、久留米市が運用する必要はないのでは</li> <li>料金が高いので利用しにくい</li> <li>体育施設は外部(民間委託)の方がいい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
周知不足	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者を増やすためのPRが少ない</li> <li>学校、幼稚園、各種団体等に、もっと広報してアピールした方がいい</li> <li>広報誌とかで分かりやすく書いてあると多くの人利用されるのではと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 体育施設の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
立地場所	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ施設が近くにないのも、利用しない理由なので、もっと中心地に欲しい</li> <li>・ 距離的に利用しやすい施設が少ないように感じる</li> <li>・ 遠くて時間も限られている者には全く縁は無い</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用率が低いと思われる</li> <li>・ 利用率が高くなるようにしてほしい</li> <li>・ 効率良く使ってほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

自由意見の特徴

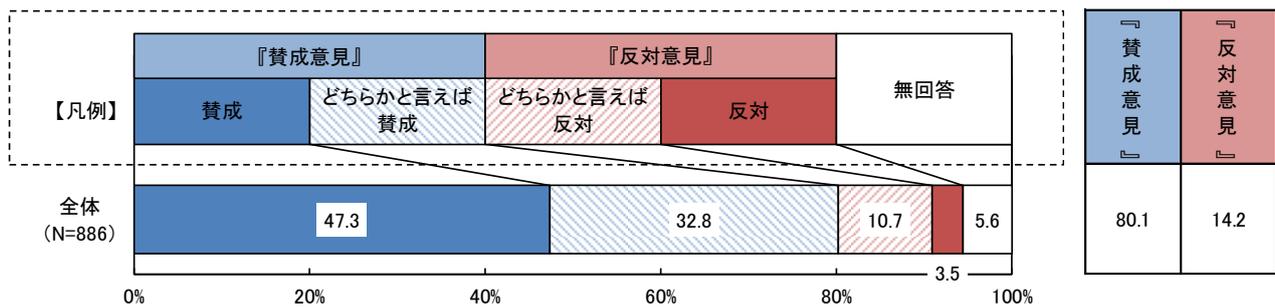
- 利用方法に関する意見が最も多く 54 件あった。その中では、利用しやすい環境づくりを求める意見が挙げられている。
- 取組方針に関する意見も多く、賛成に関する意見は 52 件、反対に関する意見は 27 件あった。その中では、少子高齢化による体育施設の必要性等の意見、利便性の低下による利用者の減少等の意見が挙げられている。

## 小学校について

## (1) 小学校の取組方針に対する賛否

問19 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：小学校の取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**小学校の課題と取組方針**

【課題】少子化の進行により、クラス替えができなかったり、複式学級（2つ以上の学年をひとつにした学級）となる学校が存在するなどの課題が生じています。今後の少子化の状況によっては、これらの課題がさらに深刻化する可能性があります。

【方針】このような課題を踏まえつつ、長期的な児童数の予測を基に、学校統合を含めた検討を行います。

また、小学校は、地域の中心的な公共施設でもあるため、他の公共施設を小学校に集約化するなどして、小学校施設を複合的に利活用します。

**結果の特徴**

- 取組方針について、『賛成意見』は80.1%であり、約8割となっている。
- 『反対意見』は14.2%であり、1割を超えている。

属性別の特徴

(年代別)

- 『反対意見』と回答した人の割合は、40歳代（18.1%）、50歳代（19.5%）で約2割となっており、他の年代と比べて高くなっている。

(性・年代別)

- 『反対意見』と回答した人の割合は、30歳代～40歳代の女性が30歳代～40歳代の男性より7ポイント程度高くなっている。

(居住地区別)

- 『賛成意見』と回答した人の割合は、筑邦（88.6%）で約9割となっており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 『反対意見』と回答した人の割合は、田主丸（22.4%）、城島（26.2%）で2割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。

図表：小学校の取組方針に対する賛否（年代別、性・年代別）

	全 （回 答 体 数 ）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ % ）	『 賛 成 意 見 』 （ % ）	『 反 対 意 見 』 （ % ）	
		賛 成	賛 ど ち ら か と 言 え ば	反 ど ち ら か と 言 え ば	反 対				
全 体	886	47.3	32.8	10.7	3.5	5.6	80.1	14.2	
年 代 別	10歳代・20歳代	79	45.6	38.0	12.7	1.3	2.5	83.5	13.9
	30歳代	116	47.4	37.9	7.8	1.7	5.2	85.3	9.5
	40歳代	144	38.2	38.2	14.6	3.5	5.6	76.4	18.1
	50歳代	154	49.4	29.9	14.3	5.2	1.3	79.2	19.5
	60歳代	227	49.8	31.3	7.5	5.3	6.2	81.1	12.8
	70歳以上	162	50.6	27.2	9.9	1.9	10.5	77.8	11.7
	無回答	4	50.0	25.0	-	-	25.0	75.0	-
性 ・ 年 代 別	男性・10歳代・20歳代	40	47.5	35.0	15.0	2.5	-	82.5	17.5
	男性・30歳代	49	55.1	34.7	2.0	2.0	6.1	89.8	4.1
	男性・40歳代	57	57.9	21.1	10.5	3.5	7.0	78.9	14.0
	男性・50歳代	64	53.1	34.4	4.7	7.8	-	87.5	12.5
	男性・60歳代	103	55.3	25.2	9.7	1.9	7.8	80.6	11.7
	男性・70歳以上	64	56.3	18.8	4.7	3.1	17.2	75.0	7.8
	女性・10歳代・20歳代	39	43.6	41.0	10.3	-	5.1	84.6	10.3
	女性・30歳代	67	41.8	40.3	11.9	1.5	4.5	82.1	13.4
	女性・40歳代	87	25.3	49.4	17.2	3.4	4.6	74.7	20.7
	女性・50歳代	90	46.7	26.7	21.1	3.3	2.2	73.3	24.4
	女性・60歳代	124	45.2	36.3	5.6	8.1	4.8	81.5	13.7
	女性・70歳以上	98	46.9	32.7	13.3	1.0	6.1	79.6	14.3
	無回答	4	50.0	25.0	-	-	25.0	75.0	-

図表：(つづき) 小学校の取組方針に対する賛否（居住地区別）

	全 （回 答 体 数 ）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ % ）	『 賛 成 意 見 』 （ % ）	『 反 对 意 見 』 （ % ）	
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 对 ど ち ら か と 言 え ば	反 对				
全 体	886	47.3	32.8	10.7	3.5	5.6	80.1	14.2	
居 住 地 区 別	耳納	47	51.1	25.5	10.6	6.4	76.6	17.0	
	筑邦	123	43.9	44.7	6.5	0.8	4.1	88.6	7.3
	上津	74	50.0	28.4	10.8	1.4	9.5	78.4	12.2
	高牟礼	95	48.4	31.6	7.4	3.2	9.5	80.0	10.5
	千歳	88	52.3	30.7	8.0	5.7	3.4	83.0	13.6
	中央・西	245	49.4	31.8	11.4	2.9	4.5	81.2	14.3
	田主丸	58	50.0	20.7	19.0	3.4	6.9	70.7	22.4
	北野	53	45.3	34.0	11.3	3.8	5.7	79.2	15.1
	城島	42	33.3	38.1	19.0	7.1	2.4	71.4	26.2
	三漕	54	33.3	40.7	13.0	5.6	7.4	74.1	18.5
	無回答	7	85.7	-	-	14.3	-	85.7	14.3

## (2) 小学校の取組方針の自由意見

## 問 20 小学校の取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

小学校の取組方針に関しての意見として、246人から275件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：小学校の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
通学	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校が遠くなりすぎるのは避けてほしい</li> <li>• 学校が遠くなる子どもには、登校・下校の事も不利にならない様にしてほしい</li> <li>• 学校統合になると、通学距離によっては車の送迎になる場合、親の負担になる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
複合利用	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色々な人の学校への出入りが増えるので、危険が増えるのでは</li> <li>• 校区コミュニティセンターをなくして、小学校にこの役割を持たせて、複合的に活用してほしい</li> <li>• 小学校を子どもだけの場にせず、老人の方も来て、触れ合えるような、いろいろな使い方をするのは賛成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に賛成	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童の通学時間や安全を考慮して、学校統合してほしい</li> <li>• 便利と不便さが伴いますが、有効活用でと思う</li> <li>• 地域格差がある以上、今後このような方式も必要</li> <li>• 地域は残したいのは分かりますが、是非、方針のとおりに行って欲しい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
学校統合	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スクールバスを走らせて、広範囲の校区をカバーする小学校をつくれれば、学校統合にも賛成派が増えるのでは</li> <li>• 少子化に伴う学校の統合は、ある程度は避けられないことだと思う</li> <li>• たしかに、子どもの人数は減っているが、通学が大変になる統合は考えもの。少人数の方が生徒に目が届きやすくなると思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に反対	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 合理化のために単純に集約化と考えるのではなく、市民、利用者側の立場を交通手段等から十分配慮して検討すべき</li> <li>• 家が遠くなる子が大変で危ないから反対</li> <li>• 小学校を減らすと通うのが大変なので、複合的利用がいいと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 小学校の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
複式学級	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の教育がしっかり、満足できる状況なのか、とても気になる</li> <li>複式学級などは学習面で、問題が生じるのではないかと思う</li> <li>少ないクラスにもそれなりの良さがあると思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
教育環境	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>数より質で良いと思う</li> <li>子ども達が安全、安心して学習できる取組みならばいいと思う</li> <li>少子化であればやむを得ないでしょうが、子ども達がのびのび勉強できる場所にしてほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
少子化	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化なら、少子化に合わせて工夫すればいいのでは</li> <li>少子化が進む状況だから、学校を一人一人の子どもがみえる所にしてほしい</li> <li>少子化で小学校の教室の有効利用には賛成</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人と子供と一緒に遊んだり、学習したりできるようにしたら良いなと思う</li> <li>高齢者とふれ合う小学校も良いのでは</li> <li>地域に根ざした学校を望む</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

#### 自由意見の特徴

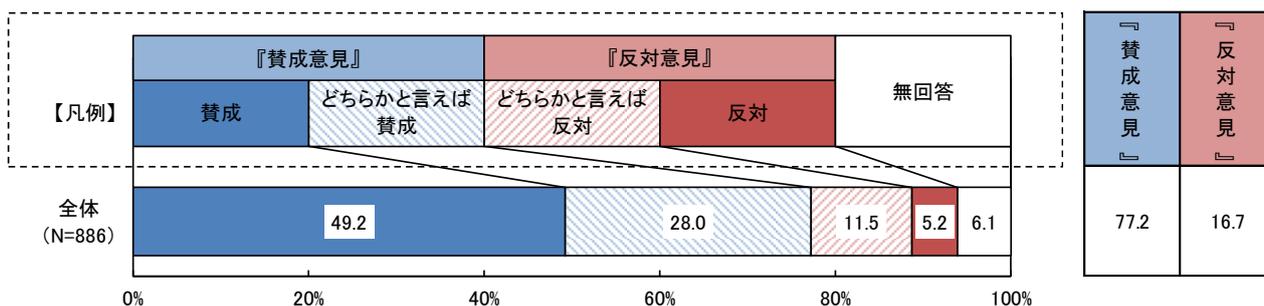
- 通学に関する意見が最も多く 61 件あった。その中では、学校が遠くなること、学校への送迎の負担等の意見が挙げられている。
- 学校の複合利用に関する意見も多く 53 件あった。その中では、いろいろな人の出入りがあることに対する危険性、学校を子どもだけのものとせず使い方を増やしてほしい等の意見が挙げられている。

市営住宅について

(1) 市営住宅の取組方針に対する賛否

問21 あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

図表：市営住宅の取組方針に対する賛否



※『賛成意見』は、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」をまとめたもの。  
 『反対意見』は、「反対」と「どちらかと言えば反対」をまとめたもの。

※「このような方針で取り組むこと」とは、以下のとおりである。

**市営住宅の課題と取組方針**

【課題】市営住宅は、高度経済成長期の人口増加等に対応するため、住宅戸数の確保を目的として整備されてきましたが、現在では、民間賃貸住宅を含めた住宅市場は、供給過多となっています。

【方針】今後、市営住宅の集約化や民間賃貸住宅の活用についても検討し、市営住宅の保有量の削減を進めます。

結果の特徴

- 取組方針について、『賛成意見』は77.2%であり、約8割となっている。
- 『反対意見』は16.7%であり、1割を超えている。

## 属性別の特徴

## (性別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、男性(54.4%)が女性(45.5%)より8.9ポイント高くなっている。

## (年代別)

- 『賛成意見』では大きな違いはみられなかったが、「賛成」と回答した人の割合は、30歳代(58.6%)、70歳以上(53.7%)が5割を超えており、他の年代と比べて高くなっている。

## (居住地区別)

- 『賛成意見』と回答した人の割合は、筑邦(86.2%)、中央・西(81.2%)で8割を超えており、他の居住地区と比べて高くなっている。
- 『反対意見』と回答した人の割合は、城島(28.6%)で約3割となっており、他の居住地区と比べて高くなっている。

図表：市営住宅の取組方針に対する賛否（性別、年代別、居住地区別）

	全 （回 答 体 数 ）	『賛成意見』(%)		『反対意見』(%)		無 回 答 （ % ）	『 賛 成 意 見 』 （ % ）	『 反 対 意 見 』 （ % ）
		賛 成	賛 成 ど ち ら か と 言 え ば	反 対 ど ち ら か と 言 え ば	反 対			
全 体	886	49.2	28.0	11.5	5.2	6.1	77.2	16.7
性 別	男性	54.4	21.5	12.2	4.8	7.2	75.9	17.0
	女性	45.5	32.9	10.9	5.5	5.1	78.4	16.4
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0
年 代 別	10歳代・20歳代	46.8	35.4	11.4	5.1	1.3	82.3	16.5
	30歳代	58.6	24.1	7.8	2.6	6.9	82.8	10.3
	40歳代	40.3	36.8	11.8	5.6	5.6	77.1	17.4
	50歳代	48.1	30.5	13.0	7.1	1.3	78.6	20.1
	60歳代	48.9	25.1	12.3	5.7	7.9	74.0	18.1
	70歳以上	53.7	21.0	11.1	4.3	9.9	74.7	15.4
	無回答	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0
居 住 地 区 別	耳納	42.6	27.7	14.9	4.3	10.6	70.2	19.1
	筑邦	52.0	34.1	4.9	2.4	6.5	86.2	7.3
	上津	51.4	24.3	12.2	4.1	8.1	75.7	16.2
	高牟礼	44.2	28.4	12.6	4.2	10.5	72.6	16.8
	千歳	44.3	28.4	12.5	12.5	2.3	72.7	25.0
	中央・西	54.3	26.9	10.6	3.7	4.5	81.2	14.3
	田主丸	55.2	24.1	10.3	5.2	5.2	79.3	15.5
	北野	41.5	28.3	17.0	5.7	7.5	69.8	22.6
	城島	42.9	26.2	21.4	7.1	2.4	69.0	28.6
	三猪	40.7	31.5	11.1	9.3	7.4	72.2	20.4
無回答	7	85.7	-	14.3	-	-	85.7	14.3

(2) 市営住宅の取組方針の自由意見

問 22 市営住宅の取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

市営住宅の取組方針に関しての意見として、247件の回答が寄せられた。その中から、項目ごとに代表的・特徴的なものを抜粋して紹介する。代表的・特徴的な内容については、原文を基本としているが、長文の場合等については一部省略・修正している。

図表：市営住宅の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
取組方針に反対	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者は増加し、年金は減っているのに、住む所が削減されたら困る者もいる</li> <li>・ セーフティネットの市営住宅は重要</li> <li>・ 低所得者のために、市営住宅は充実を図り残して欲しい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
取組方針に賛成	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市営住宅は必要だと思いますが、供給過多という状況の中では、保有量の削減と新規建設の中止は必須である</li> <li>・ 市営住宅の老朽化が進んでいるので削減もありと思う</li> <li>・ 削減は徹底して進めるべき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
入居者の実態	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当に困っている人が利用しているのか、きちんと精査すべき</li> <li>・ 市営住宅は本当に必要な者へ提供すべき</li> <li>・ 利用規定の厳格化を</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
老朽化、空き家問題	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用されない部屋が余っているのは、もったいない</li> <li>・ 市営住宅の保有量の削減には賛成だが、老朽化している建物については建替えも進めてほしい</li> <li>・ 空き家になっている家も多くあるので、利用出来れば市営住宅の削減も可能なのかなと思う</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
利便性、活用方法	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害用住宅としての利用でもよいのではないか</li> <li>・ 削減だけではなく、安全に利用できる施設に改修し、高齢者が楽しく話せる場所もよいと思う</li> <li>・ 団地を公共駐車場、駐輪場や公園として再利用してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

図表：(つづき) 市営住宅の取組方針の自由意見

項目	件数	代表的・特徴的な内容
入居条件	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得金額を引き上げて、皆様に幅広く利用してほしい</li> <li>市営住宅に入りたいけど、入れない</li> <li>市営住宅に誰でも申し込める事、又、貸し料が民間との差がありすぎる</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
バリアフリー化	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>削減するとともに老朽化施設の改築、バリアフリー化が必要だと思う</li> <li>高齢者が住みやすい様、バリアフリーを設けてほしい</li> <li>高齢世帯向けの住宅支援、生活支援など、現在の課題に合わせた住対策を検討してほしい</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
民間委託	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間に委託して家賃を補助しては</li> <li>民間施設を利用し、住宅困窮者に家賃助成でも実施すればいいと思う</li> <li>市営住宅の集約化は、ある程度必要と思いますが、民間賃貸住宅活用は反対</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
その他	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこの施設でも利用が多ければ賛成だが、少なければ無駄な税金を使わなくてもいい</li> <li>利用されている方にアンケートした方がいい</li> <li>今の時代に合っていないものは売却して財源にして、福祉の充実にあてるべき</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

#### 自由意見の特徴

- 取組方針に反対する意見が最も多く 61 件あった。その中では、セーフティネットとしての必要性等の意見が挙げられている。
- 取組方針に賛成する意見も多く 44 件あった。その中では、老朽化が進んでいる市営住宅の削減等の意見が挙げられている。



## 第4章. 調査の総括

## 第4章. 調査の総括

この調査は、公共施設が抱える課題や課題解決の方針に関する市民意識を把握し、久留米市公共施設総合管理基本計画を策定するための基礎資料にするとともに具体的な取組みの参考資料とすることを目的として実施した。

調査の結果、概ね以下のような市民意識を把握することができた。

### 1. 課題認識について

本アンケートでは、公共施設に関する課題に認識状況を把握するため、施設の改修や建替え経費の増大についての財政上の課題を中心として、認識されているかの設問を行った。

回答集計を分析した結果、以下の傾向を把握することができた。

- 公共施設が抱える課題について『知っている』と回答した人は、71.7%であり、7割を超える方が知っている結果となった。
- なお、『知っている』と回答した人の中で、テレビや新聞、雑誌をきっかけとして課題を知った人が多い傾向があった。

### 2. 課題解決に向けた取組みについて

本アンケートでは、公共施設に関する課題を解決するための取組方針の考え方に賛成が得られるか把握するため、3つの方針について、それぞれ賛否を尋ねる設問を行った。

回答集計を分析した結果、以下の傾向を把握することができた。

- 全ての推進目標について、『賛成意見』の割合が概ね9割前後であった。多くの人が、3つの推進目標で取組むことに賛成意見の傾向である。
- 『賛成意見』の割合が高いのは「安全・安心を最優先にして取組むこと」であり、他の2つの方針と比較すると、「賛成」と回答した人の割合が2割程度高い結果となっている。

### 3. 施設利用頻度について

本アンケートでは、公共施設が市民全体の中でどの程度利用されているかを施設類型ごとに把握するため、類型ごとに利用頻度を尋ねる設問を行った。

回答集計を分析した結果、以下の傾向を把握することができた。

- 『利用あり』と回答した人の割合は、文化施設で5割を超えている。一方で、生涯学習施設等及び校区コミュニティセンターが約4割、体育施設が約3割となっており、5割を下回る結果となっている。
- 『頻繁に利用している』(=「週に1回以上利用している」+「月に1回以上利用している」)の割合は、どの施設類型でも低く、1割以下である。最も高いのは「校区コミュニティセンター」(8.6%)、最も低いのは「体育施設」(5.6%)となっている。

### 4. 類型別の取組み方針について

本アンケートでは、公共施設に関する課題を解決するための施設類型別の取組方針の考え方に賛成が得られるか把握するため、各施設類型の取組方針について、それぞれ賛否を尋ねる設問を行った。

回答集計を分析した結果、以下の傾向を把握することができた。

- 全体的に、『賛成意見』が約8割前後であり、多くの人が取組方針に賛成している傾向にある。
- 市営住宅の取組方針についての『賛成意見』が最も低く、8割以下であった。
- 生涯学習施設等及び校区コミュニティセンターの取組方針についての『賛成意見』は、約9割であった。

## 5. 全体総括

久留米市では、公共施設の老朽化に伴う安全面や財政面での課題に対応するため、平成26年度には、公共施設の現状と課題を整理した「公共施設白書」を公表し、平成28年1月には、「公共施設総合管理基本計画」を策定した。

上記計画は、市民生活に影響のある取組みを具体的に進めるための基本計画であり、計画策手にあたっては、市民意識との整合を図りながら策定作業を進めるため、パブリック・コメントと並行して、公共施設に関する市民意識調査を実施したものである。

調査の結果として、計画案の内容について賛成する意見が多数であったことに加え、自由意見の中では、取組みを進めるにあたっての留意点についての意見も多数いただき、今後の取組みの参考とすることができる結果となった。



資料編

資料編（調査票）

## 公共施設に関する市民アンケート調査

～ アンケート回答にご協力お願いします ～

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、久留米市では、学校や市営住宅、文化施設などの公共施設の老朽化に伴う安全の確保や財政負担の増加へ対応した取組みを進めようとしています。

具体的な取組みを計画的に進めるため基本的な方針として、「公共施設総合管理基本計画」を本年度中に策定することとしています。

そこで、市民の皆様の身近にある公共施設について、ご意見をいただき、策定する計画や今後の取組みの参考とさせていただきたいと考え、アンケート調査を実施することとしました。

ご多忙とは存じますが、調査の目的をご理解いただき、アンケート回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

久留米市長 檜原 利則

### 回答にあたってのお願い

- 以下の回答〆切までのご回答をお願いします。

回答〆切 **平成27年12月10日（木）まで**

回答方法 ご記入いただいたこの調査票を返信用封筒に入れて、  
ポストに投函してください。（切手不要）

- 回答は、本調査のあて名ご本人様がご記入ください。
- 同封している資料をご覧いただきながらアンケートにお答えください。

【同封資料】 久留米市公共施設白書ダイジェスト版  
久留米市公共施設総合管理基本計画（案）抜粋

#### ※ この調査についての補足事項

- ・ 「公共施設総合管理基本計画（案）」では、道路や橋、上下水道などを含む全ての公共施設を対象としますが、このアンケートでは、建物系の公共施設を対象としています。
- ・ このアンケート調査は、住民基本台帳から無作為に抽出し、調査票を送付させていただいております。
- ・ アンケートの回答は、すべて統計的に処理し、個人が特定されるようなことはありません。また、この調査の目的以外に利用することはありません。



お問い合わせ先：久留米市 総合政策部 行財政改革推進課

電話0942-30-9124 ファクス0942-30-9703



参考

～ 久留米市の公共施設が抱える課題 ～

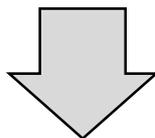
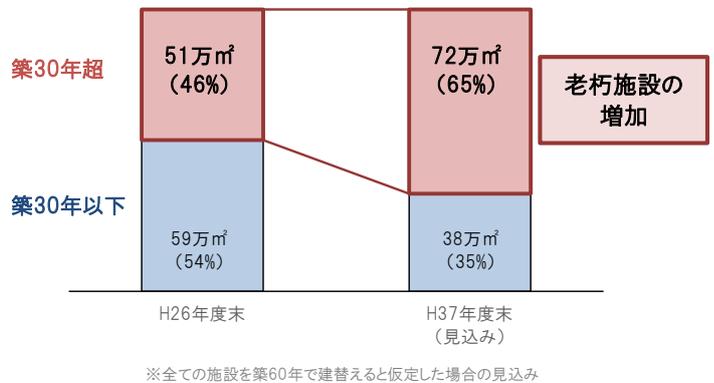
■市の公共施設には、市民の皆さんの生活に密着した様々な施設があります。

<p>◆子どものための施設◆ 小学校、中学校、学童保育所 公立保育園、児童センター 子育て支援センター</p> 	<p>◆コンサートや講演会等のための施設◆ 市民会館、石橋文化ホール インガットホール そよ風ホール</p> 
<p>◆集会や学習のための施設◆ えーるピア、サンライフ久留米 勤労青少年ホーム、働く女性の家 校区コミュニティセンター、図書館</p> 	<p>◆スポーツをするための施設◆ 荘島体育館、みづま総合体育館 市民温水プール、野球場 弓道場、武道場</p> 
<p>◆福祉のための施設◆ 総合福祉会館、城島げんきかん コスモすまいる北野 老人いこいの家</p> 	<p>◆行政事務所や窓口◆ 市役所、総合支所 市民センター 保健所</p> 
<p>◆その他の施設◆ 市営住宅、中央卸売市場、競輪場 市営駐車場、上津クリーンセンター 浄水場、下水処理場</p>	

■これらの公共施設は、施設の老朽化に伴い、大きな課題を抱えています。

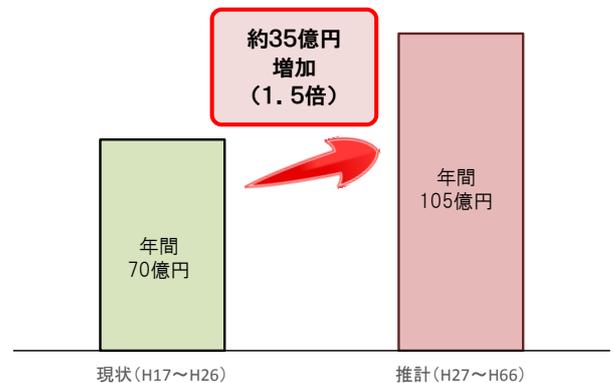
《施設老朽化の見込み》

- ✓ 平成26年度末で、建設から30年を超え老朽化が進んだ施設が約半分あります。
- ✓ 平成37年度末には、老朽化が進んだ施設が65%に増加します。



《財政的課題》

- ✓ これらの施設の改修工事や建替えを行っていくためには、これまでの事業費の約1.5倍の事業費が必要と見込まれます。
- ✓ このように改修工事や建替えの事業費が増大すると、久留米市の財政を圧迫することになります。



※ 同封している「公共施設白書ダイジェスト版」では、平成24年度末時点で整理した内容を掲載していますので、上記の数値とは異なります。

## ■ 課題解決に向けた取組みについて

久留米市では、前ページのような課題に計画的・効果的に対応するための計画として「公共施設総合管理基本計画」を今年度中に策定し、具体的な取組みを進めることにしています。

現在、この計画の案を公表しています。計画案では、公共施設の課題解決に向けて、3つの「推進目標」と取組みの「推進方針」を整理しています。

この計画案で示している目標や取組方針について、以下のアンケートにお答えください。

※計画案の内容は、同封資料「公共施設総合管理基本計画（案）抜粋」をご参照ください。計画案全体は、久留米市ホームページにも掲載しています（トップ画面から「公共施設計画」で検索）。

**問3** 計画案では、今後10年間で、公共施設の統廃合等により施設面積を3%（約3万㎡）縮減する目標を設定し、そのための推進方針を次のように定めています。

### 推進目標1

平成37年度までに、施設の統廃合等により、施設面積を3%（約3万㎡）縮減します

- ★施設面積3%（約3万㎡）は、現在の久留米市役所本庁舎（約3万4千㎡）と同程度の規模です。
- ★今後10年間は3%縮減を目標としていますが、最終的には40年間で15%（約16万㎡）の縮減が必要と想定しています。

目標達成のために

### 推進方針1 施設保有量の縮減（公共施設の「量」を減らす）

- ★施設の統廃合を進めたり、新しい施設が必要になっても他の施設を用途転用したりすることで、施設面積（量）が増えないように努めます。

あなたは、このように公共施設の統廃合等に取り組むことについて、どう思いますか。

（○は1つ）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問4** 計画案では、今後10年間で、公共施設に関するコスト縮減や収入確保により、効果額15億円を生み出す目標を設定し、そのための推進方針を次のように定めています。

**推進目標2**

平成37年度までに、コスト縮減や収入確保により、効果額15億円を生み出します

目標達成のために

**推進方針2 徹底したコスト縮減**

- ★『コスト縮減』のために…
  - ・施設を長く使えるようにし、建替えのサイクルを長くします
  - ・維持管理費や運営費を縮減するため、現在よりも積極的に民間委託を進めます
  - ・改修工事等を行う場合は、改修内容の必要性を精査して合理的に事業を実施します
- ★『収入確保』のために…
  - ・廃止した施設の跡地売却や施設利用料を見直すなどして収入を確保します

あなたは、このようにコスト縮減や収入確保に取り組むことについて、どう思いますか。

(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問5** 市民の皆様が利用する公共施設は、安全と安心が最優先です。このため、計画案では、公共施設における重大事故ゼロを目標として設定し、そのための推進方針を次のように定めています。

**推進目標3**

施設の安全・安心確保により、重大事故ゼロを目指します

目標達成のために

**推進方針3 安全確保**

- ★施設の点検や診断を計画的に行い、安全性の維持向上に関する取組みを推進します

あなたは、このように安全・安心を最優先にして取り組むことについて、どう思いますか。

(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問6** 計画案では、上記の問3～問5のように、今後、老朽化する公共施設の安全性を確保しながら、公共施設が抱える財政的課題に対応するための目標や取組みの推進方針を整理しています。この計画案や今後の取組みについて、ご意見などをお聞かせください。

(ご意見などをご記入ください。)

## ■ 施設類型ごとの取組みについて

問3～5で示した推進目標・推進方針に基づいて具体的な取組みを進めるために、計画案では、施設類型ごとの取組方針も整理しています。

計画案で示している施設類型ごとの取組方針について、以下のアンケートにお答えください。

### 文化施設について

**問7** 文化施設は、音楽イベントや講演会等を催すためのホールを備えた施設です。

(主な施設) 【大規模ホール】 市民会館、石橋文化ホール  
 【中規模ホール】 共同ホール、そよ風ホール、城島総合文化センター、  
 北野生涯学習センター など  
 ※このほかに久留米市シティプラザを整備中です。

あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(〇は1つ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 週に1回以上利用している | 4 利用したことがない         |
| 2 月に1回以上利用している | 5 そのような施設があることを知らない |
| 3 年に数回程度利用している |                     |

**問8** 文化施設についての主な取組方針は、以下のとおりです。

#### 文化施設の取組方針

500席程度の中規模ホールを有する施設について、老朽化が進んで大規模な改修や建替えが必要となる時期に、施設廃止を含めた検討を行います。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問9** 上記のような取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

(ご意見などをご記入ください。)

### 生涯学習施設等について

**問10** 生涯学習施設等の施設は、市民の生涯学習活動等のため、会議室や和室、調理室等の貸室を提供する施設です。

(主な施設) えーるピア久留米、勤労青少年ホーム、高牟礼会館、  
市民センター多目的棟、サンライフ久留米 など

あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(〇は1つ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 週に1回以上利用している | 4 利用したことがない         |
| 2 月に1回以上利用している | 5 そのような施設があることを知らない |
| 3 年に数回程度利用している |                     |

**問11** 生涯学習施設等についての主な取組方針は、以下のとおりです。

#### 生涯学習施設等の取組方針

貸室の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問12** 上記のような取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

(ご意見などをご記入ください。)

### 校区コミュニティセンターについて

**問13** 校区コミュニティセンターは、校区住民の皆様の寄付や市からの補助金により小学校区ごとに設置され、校区コミュニティ組織で管理運営されています。

これらの施設は、校区まちづくり活動の拠点であるとともに、校区住民の皆様に会議室や調理室などの貸室を提供しています。

あなたは、校区コミュニティセンターを利用したことがありますか。(〇は1つ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 週に1回以上利用している | 4 利用したことがない         |
| 2 月に1回以上利用している | 5 そのような施設があることを知らない |
| 3 年に数回程度利用している |                     |

**問14** 校区コミュニティセンターについての主な取組方針は、以下のとおりです。

#### 校区コミュニティセンターの取組方針

校区での地域活動による利用の他に、市民の生涯学習などを含め、より幅広く利用することで、施設をより有効に利用していきます。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問15** 上記のような取組方針にご意見や感じることがあれば、ご記入ください。

(ご意見などをご記入ください。)

### 体育施設について

**問16** 体育施設は、市民の皆様がスポーツ活動などをするための体育館、トレーニング室、プール、軽運動室など様々な運動の場を提供するための施設です。

(主な施設) 庄島体育館、みづま総合体育館、西部地区体育館、西田体育館、市民温水プール、筑後川漕艇場 など  
※このほかに、武道場と弓道場を県立体育館と一体的に建替え整備中です。

あなたは、このような施設を利用したことがありますか。(○は1つ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 週に1回以上利用している | 4 利用したことがない         |
| 2 月に1回以上利用している | 5 そのような施設があることを知らない |
| 3 年に数回程度利用している |                     |

**問17** このような体育施設についての主な取組方針は、以下のとおりです。

#### 体育施設の取組方針

施設の利用状況を調査し、利用率が低い場合や特定団体に利用が偏っている場合には、統廃合を含めた検討を行います。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(○は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問18** 上記のような取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。  
(ご意見などをご記入ください。)

## 小学校について

**問19** 小学校についての主な課題と取組方針は、以下のとおりです。

### 小学校の課題と取組方針

【課題】少子化の進行により、クラス替えができなかったり、複式学級（2つ以上の学年をひとつにした学級）となる学校が存在するなどの課題が生じています。今後の少子化の状況によっては、これらの課題がさらに深刻化する可能性があります。

【方針】このような課題を踏まえつつ、長期的な児童数の予測を基に、学校統合を含めた検討を行います。

また、小学校は、地域の中心的な公共施設でもあるため、他の公共施設を小学校に集約化するなどして、小学校施設を複合的に利活用します。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。（○は1つ）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問20** 上記のような取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。

（ご意見などをご記入ください。）

## 市営住宅について

**問 2 1** 市営住宅は、低額所得者などの住宅困窮者のための賃貸住宅を提供しています。  
市営住宅についての主な課題と取組方針は、以下のとおりです。

### 市営住宅の課題と取組方針

【課題】市営住宅は、高度経済成長期の人口増加等に対応するため、住宅戸数の確保を目的として整備されてきましたが、現在では、民間賃貸住宅を含めた住宅市場は、供給過多となっています。

【方針】今後、市営住宅の集約化や民間賃貸住宅の活用についても検討し、市営住宅の保有量の削減を進めます。

あなたは、このような方針で取り組むことについて、どう思いますか。(○は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 3 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 4 反対         |

**問 2 2** 上記のような取組方針にご意見や感じるものがあれば、ご記入ください。  
(ご意見などをご記入ください。)



公共施設に関する市民アンケート調査  
調査結果報告書

平成 28 年 2 月発行

発行 久留米市 総合政策部 行財政改革推進課  
福岡県久留米市城南町 15-3

TEL 0942-30-9124

FAX 0942-30-9703